

2019年度入学生カリキュラム

目次

目次	1
学部カリキュラム	
1 京都文教大学での学び	2
1 京都文教大学の学士力 (KBU学士力)	2
2 KBUアイデンティティ科目	3
2 総合社会学部	4
総合社会学科の3つのポリシー	4
総合社会学科のカリキュラム	6
●経済・経営コース	6
●メディア・社会心理コース	7
●公共政策コース	7
●国際文化コース	8
●観光・地域デザインコース	9
カリキュラム表 総合社会学科2019年度入学生対象	11
3 臨床心理学部	25
臨床心理学科の3つのポリシー	25
臨床心理学科のカリキュラム	26
カリキュラム表 臨床心理学科2019年度入学生対象	28
教育福祉心理学科の3つのポリシー	39
教育福祉心理学科のカリキュラム	40
カリキュラム表 教育福祉心理学科小学校教員養成コース2019年度入学生対象	41
カリキュラム表 教育福祉心理学科保育福祉心理コース2019年度入学生対象	50

学部カリキュラム

1 京都文教大学での学び

1 京都文教大学の学士力(KBU学士力)

専攻する学部・学科にかかわらず、大学卒業までに学生が身につけるべき能力を定義したものを「学士力」といいます。

京都文教大学では、建学の理念に基づき、学士力を以下のように定めています。

1. 共生社会を実現できる力（社会的価値創造力）

共生社会（自他共に幸せを感じられる人間関係・社会組織・地域社会）という新たな価値を創り出す力。これは「菩薩力」と言い換えることも可能である。

2. どんな場面でも役に立つ知力（汎用的知力）

基盤となる教養と専門的知識、またそれらを応用して問題を解決する力（情報処理力・考察力・構想力）。

3. 現場で必要とされる力（現場実践力）

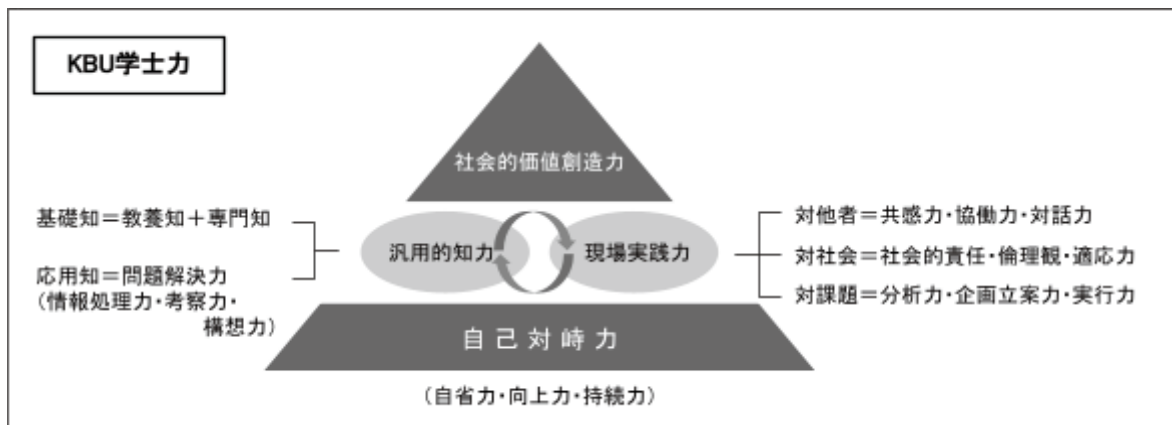
現実社会の様々な場面で必要とされる力。具体的には、他者に対する共感力・協働力・対話力、社会に対する社会的責任・倫理観・適応力、課題に対する分析力・企画立案力・実行力をいう。

4. 自分自身と向き合う力（自己対峙力）

自分自身と向かい合う力（自省力・向上心・持続力）。これがすべての力の基盤となる。

◇ 相互の関係

自己対峙力を基盤とし、汎用的知力と現場実践力との相互作用（往復運動）を通じて、最終的に社会的価値創造力を獲得する。これを構造化すると、次のようになる。



2 KBUアイデンティティ科目

卒業までの間に全ての京都文教大学生に身につけてほしい「KBU学士力」。それらの「力」のベースとなるのが新入生全員が必修科目として受講するこの「KBUアイデンティティ科目」です。仏教入門、大学入門、地域入門という三つの「門」をくぐることをとおして、京都文教大学生としてのアイデンティティを感じてもらいたいと考えています。

「仏陀と法然に学ぶ人間学」（仏教入門）／1年次・春学期

現代社会に生きる私たちは、物質的豊かさや「個」を優先する価値観が主流となり、他者と「共生」していることを忘れがちになっています。コミュニケーション能力の問題も、ここに起因するところが少なくないでしょう。

宗教、中でも仏教は、人間の生と死を真正面から考えるものであり、また自己と他者との関係性を認識する哲学でもあり、それは私たち人間が人間らしく生きていくために必要な人生の指針となり得る一つの考え方でもあります。人々はこの「仏教」に何を感じ、何を求めているのでしょうか。

この科目では、日本に生きる人々に広く受け入れられた仏教の開祖・仏陀（釈迦）と、日本の浄土宗の開祖・法然の教えと生涯を通して、「人間」とは何か、「人間らしく生きる」とは何かについて考えます。そして、本学の「建学の理念」を理解し、京都文教大学生としてのそれぞれのアイデンティティ確立に役立ててもらえればと思います。

「大学入門」／1年次・春学期

高校から大学に進学すると、呼称が「生徒」から「学生」に変わりますが、それは高校までの学び（受動的学習）と大学での学び（能動的学習）が大きく異なるからです。そして、この移行をスムーズにするためには、まず大学に「アイデンティティ（帰属意識）」を持つことが大事です。

大学に自分の居場所を確保し、友だちと友好的関係を築き、教職員と仲良くなり、この大学にどのような施設があつてどのような活動ができるかを知れば、学習と生活の基盤が確立し、これからの4年間はきっと充実するはずで

す。本学には、優秀な教員、多彩な職員、個性的な先輩、そしてユニークな施設がいっぱいあります。大学生活を充実させるための知識や情報を提供し、生徒から学生へ一歩踏み出すことを支援する科目、そして何より「この大学を好きになってほしい!」という想いがこもった科目が「大学入門」です。

「地域入門」／1年次・秋学期

現在の日本は、少子高齢化、人口減少、産業構造の変化、繋がりの希薄化など様々な課題を抱えています。これらの課題を解決し、より良い社会を作るためには、私たち一人一人に何ができるのかを考えていく必要があります。そのために最も身近な場所となるのが、皆さんが生活の場とする「地域」です。

「地域入門」の授業は、大学に身近な地域などを例にしながら、自身が大学で学ぶ専門的な知識や能力を活かして、「地域」と関わる視点や方法を学んで頂くきっかけとなる授業です。どのような専門を専攻しても、何らかの形で、地域とは関わりがあるということがわかって頂けると思います。

「地域入門」を通して、今後の学生生活での学びや将来の進路や生き方にどのように結びつけていくか、考えるきっかけとしてください。大学での様々な専門性を活かし、地域課題を解決し、地域社会に貢献できる力をつけるための入門科目です。

本学の建学の理念を一言で言うと、「共生（ともいき）」です。したがって、KBU学士力の最終目標は、前頁にあるように、「社会的価値創造力」、つまり「共生（ともいき）社会を実現できる力」の養成です。そのためには、「仏陀と法然に学ぶ人間学」で、その理念のもとになっている仏教の思想や、ともいきを实践した仏陀や法然について学ぶ必要があります。また「ともいき」を实践していくにあたって、その最初の間がみなさんにとって最も身近な本学であり、「大学入門」は「大学とのともいき」を支援します。それができれば、そのともいきの範囲を少し広げ、地域に出て、「地域とのともいき」を实践してください。それをサポートするのが「地域入門」です。そして、その「ともいき」の場所をフィールドに、学部学科の専門教育で身につけた知識やスキルを駆使し、ともいき社会を作る練習をしましょう。

2 総合社会学部

総合社会学科の3つのポリシー

I. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

総合社会学科（以下、「本学科」という）では、社会科学を中心とする幅広い教育研究を通して、複雑で多様化する現代社会の諸問題を総合的に理解する力、またその解決に向けて探究・実践する力を身につけ、積極的に社会に働きかけて「ともいき社会」の実現に貢献できる人材（＝「ともいき社会人」）を育成することを教育目標としています。本学科では、上記の教育目標を達成するために必要とされる所定の単位を修得し、下記の力を身につけた人に対して学位を授与します。

1. 常に自己を省察し向上しようとする意欲と、複雑で多様化する現代社会の様々な問題や人間行動への強い関心を持ち、その解明や解決に向けて主体的かつ継続的に努力することができる。（自己対峙力＋社会への関心）
2. 社会科学を中心とする幅広い知識と技能を持ち、現代社会の諸問題を総合的視点から理解することができる。（汎用的知力／教養知）
3. 本学科に設置するコースの学びのうち、いずれかの分野に関する専門的知識と技能を持ち、それを現代社会の諸問題の発見や解決に役立てることができる。（汎用的知力／専門知）
4. 地域や組織の一員として、世代や文化の異なる他者に対しても共感的態度と対話力を持ち、協働することができる。（現場実践力）

II. 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、以下のような教育課程、教育方法、教育評価の方針に基づいて教育を行います。

（1）教育課程の編成

1. 複雑で多様化する現代社会の諸問題に対応するため、本学科に、経済・経営、メディア・社会心理、公共政策、観光・地域デザイン、国際文化という5つのコースを設置する。
2. 社会科学の基礎を幅広く学んだ後、所属するコースの履修モデルに沿って、専門性の高い科目を段階的に学べるよう、科目を配置する。
3. 所属するコースの履修モデル以外の科目も履修できる自由度を設ける。それにより、複数分野を組み合わせた学び方も可能となり、自分を取り組もうとする研究対象に多彩な視点からアプローチできる。
4. 問題発見や問題解決に向けた調査・分析力、またコミュニケーション力や情報発信・表現力などを養うため、少人数クラスによる演習・実習等の実践的な科目を設定する。
5. 上記の教育課程を通して身につけた種々の力を実際の社会で活用できるよう、資格取得を含めた就業力育成のための科目および履修プログラムを設置する。

（2）教育方法

1. ゼミ教育を重視し、1年次から4年次まで、すべてのセメスタでゼミ形式の授業を設定する。ゼミにおける教育指導の方針は以下①～③による。
 - ① 1年次はコースごとにゼミを編成し、コースの学びに沿った基礎的なテキストを使用して、汎用的なラーニングスキルやリサーチスキルを涵養する。
 - ② 2年次からは学生が自らの興味関心に応じて、多彩なテーマで開講されているゼミの中から選択できるようにする。その際、本学科の多様性や学際性を活かすため、ゼミ選択を所属コースにより制限することはないが、ミスマッチを防ぐため、あらかじめ各コースの学びと各ゼミの研究テーマとの関連度を示し、ゼミ選択における目安を提供する。
 - ③ ゼミ担当教員は、ゼミ学生の履修指導や就職支援など、担任として種々の面からサポートする。
2. ゼミ以外にも、少人数クラスによる演習・実習等の実践的な授業を多数用意し、現場体験によって得られる学びを重視する。

3. 講義形式の授業においても、学生との意見交換、グループワーク、コミュニケーションペーパー、等々、できる限り双方向型の方法を取り入れ、学生の主体的かつ能動的な学びを引き出す工夫を行う。

(3) 教育評価

学生レベルの評価は、各科目のシラバスに定める到達目標の達成度、本学科で定める学修ベンチマークの達成度、および卒業論文の成果等によって行う。その際、学期ごとの履修状況や学修成果を担任教員がチェックする体制を整え、各時期に応じた適切な指導を行う。

学科レベルの評価は、学科の全学生についての単位修得状況や学修ベンチマークの達成状況などを、継続的・統計的に把握することによって行う。

なお、教育評価に際しては、客観的な評価方法を確立するために効果的なツール（ルーブリックなど）を積極的に取り入れる。また、学生自身による学修成果のふりかえりや担任教員による学修成果の把握に活用できるツール（ラーニング・ポートフォリオなど）を積極的に取り入れる。

Ⅲ. 入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 求められる人材

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）の中で「ともいき社会人」の育成という目標を掲げており、その実現のために、教育課程編成の方針（カリキュラムポリシー）で定めた教育活動を行っています。この観点から、本学科では、以下の知識・能力・資質および意欲を備えた人を求めます。

1. 高等学校の教育課程（高等学校相当を含む）を幅広く修得している。
2. 複雑で多様化する現代社会の様々な問題や人間行動に関心や好奇心をもち、それらの解決や解明に向けて探究する意欲と向上心をもつ。
3. 本学科に設置するコースの学びのいずれかの分野に特に強い関心と学ぶ意欲をもち、将来、その学びを仕事や生活に活かしたいと考えている。
4. 世代や文化の異なる他者と対話・協働するために必要なコミュニケーション力、すなわち、他者への共感的態度と理解、柔軟な発想、表現や発信などに関する能力を身につけたいと考えている。
5. 地域や組織の一員として、社会の様々な場面で「ともいき社会」の創造に貢献できる人材（＝「ともいき社会人」）になりたいと考えている。

(2) 入学者選抜方法

上記「求められる人材」で挙げた能力や資質・意欲などに対する評価を組み合わせた入試課題を実施する。詳細については入試要項に別途定める。

総合社会科学のカリキュラム

●経済・経営コース

(1) カリキュラムのねらい

近年、市場経済のグローバル化がますます進展しています。とくにアジア諸国の経済発展に伴い、日本企業の中にも国内にとどまらず、海外にも進出する企業が増えてきています。その一方で、2011年3月に発生した東日本大震災をきっかけに、社会的な問題に対する人びとの関心が高まり、ボランティア活動を行う人びとやそういった問題をビジネスで解決しようとする企業も増加しています。

本コースでは、このような経済・社会現象および経済・社会問題について「経済」と「経営」という複眼的な視点で考える方法を修得します。そのために、まず経済と経営の原理・原則を学習します。そのうえで、経済学と経営学の考え方をういて現実に起こっているさまざまな現象を読み解くとともに、そういった問題について思考し、問題解決のための処方箋を導いていきます。とくに、社会的な問題をビジネスで解決するソーシャル・ビジネスの手法を身につけます。さらに、実社会に出てから必要となるソーシャル・スキル（主体性、積極性、柔軟性、分析力、問題解決能力、課題発見能力、コミュニケーション能力など）の修得や資格取得にも力を入れます。

(2) 各年次の学習内容・到達目標

- 〈1年次〉 経済学、経営学の基礎的な知識を身につけている。
- 〈2年次〉 経済や経営の基本原則を理解し、現実の経済現象や経営上の問題を把握している。具体的には、グローバル化が進む市場経済の仕組みを理解しており、かつ、企業やNPOの経営に関する知識を身につけている。
- 〈3年次〉
 - ・世の中の事象を経済学的もしくは経営学的に思考する方法を身につけている。そのために理論と現実の往復作業を行うことが求められます。
 - ・具体的な経済・経営問題を定量的・客観的に分析することができる。つまり、金融、財政、貿易、組織、雇用、社会貢献などの現実問題についてデータを収集し、それを加工処理し、分析することができる。さらに、実習を通じて、これらの問題解決に向けた取り組みを行います。
- 〈4年次〉 3年間で学んだことを自身の研究テーマに応用し、研究を深め、その成果（卒業論文）を社会に発信することができる。

(3) コースコア科目

経済・経営コースでは、次の6科目を「コースコア科目」と位置づけ、コース所属学生には必ず履修するように勧めています。これらは、経済・経営コースが提供する様々な科目の中で、コースの学びの核となる科目であり、経済・経営分野について専門的に学んだと言えるための必要最小限の科目をピックアップしたものです。

	1春	1秋	2春	2秋
基礎	経済学概論	経営学概論		
基幹				日本経済論、経営戦略論
			ミクロ経済学、経営組織論のうち、どちらか1科目(注)	マクロ経済学、マーケティング基礎のうち、どちらか1科目(注)

(注)「ミクロ経済学」+「マクロ経済学」、「経営組織論」+「マーケティング基礎」の組み合わせで履修すること

(4) 身につく力・将来の進路

市場経済で主体的に活躍する気概を持つ人材を育成します。とくに、ビジネス的な発想によって社会貢献を果たそうとする態度を身につけている人材を育成します。したがって、卒業後の進路は民間企業のみならず行政機関やNPOでの業務に従事することが期待されます。

●メディア・社会心理コース

(1) カリキュラムのねらい

現代社会のさまざまな問題は、いずれも人の心と社会のしくみが深く関係して生じています。また人の心と行動は、気づかぬうちにメディアの影響を受けています。メディアには、新聞・雑誌・テレビ等のマスメディアもあれば、ケータイのようなパーソナルメディアもあります。またインターネットを基盤とするデジタルメディアの普及により、現代のメディアシーンは、従来のアナログメディアの時代に比べ、はるかに複雑で混沌とした状況になりつつあります。このような現代社会に求められるのは、多様なメディアと私たちとの関係を理解し、メディアからの情報を正しく読み解く力、メディアを効果的に活用し情報を発信・表現する力、また、人の心とメディア・社会との相互作用について科学的に考察する力を持った人材でしょう。

メディア・社会心理コースのカリキュラムでは、まず「メディア」と「社会心理」という2つの学問領域の基礎をしっかりと学び、社会と心の関係、および、メディアと社会・個人の関係についての基礎的知識や研究技法を身につけます。さらにそれらの知識や研究技法を使って、私たちが日々関わる身近なテーマ（例えば、組織や集団における人間関係、消費行動、流行現象、衣、食、住、映像や音楽、アート、宗教、犯罪など）について、より実践的に学び、複雑化する現代社会の諸問題について理解するための応用力を養っていきます。また、演習では、自分が関心を持ったテーマについてさらに研究を深め、最後にその集大成としての卒業論文を仕上げます。

(2) 各年次の学習内容・到達目標

- 〈1年次〉 ・専門基礎科目を中心に、メディアと社会心理に関する学問的基礎を習得します。
- 〈2年次〉 ・専門基幹科目を中心に、メディアと社会心理に関する基幹的な科目を履修し、それと併行して専門展開科目の中から興味のある科目を履修することによって、自分のその後の研究テーマにつながる領域についての知識や研究技法を習得します。
- 〈3年次〉 ・専門展開科目を中心に、メディアと社会心理に関する応用的な科目を履修することによって自分の研究テーマの方向性を定め、演習を通してその研究テーマを深めていきます。
- 〈4年次〉 ・演習を中心に、自分の研究テーマをさらに深め、4年間の学びの集大成としての卒業論文を完成させます。

(3) コースコア科目

メディア・社会心理コースでは、次の5科目を「コースコア科目」と位置づけ、コース所属学生には必ず履修するように勧めています。これらは、メディア・社会心理コースが提供する様々な科目の中で、コースの学びの核となる科目であり、メディア・社会心理分野について専門的に学んだと言えるための必要最小限の科目をピックアップしたものです。

	1春	1秋	2春
基礎	メディア研究概論 社会心理学概論		
基幹		メディアリテラシー コミュニケーションの心理	メディア研究法、社会心理学研究法 のうち、どちらか1科目

(4) 身につく力・将来の進路

本コースでは、現代社会におけるメディアの特性や影響を理解し、メディアからの情報を批判的に読み解く力、多様なメディアを活用して情報を発信・表現するためのスキルや感性、そして現代社会の諸事象を社会心理的な視点から分析・考察する力などを身につけた人材を育成したいと考えています。これらの力は、将来、人や社会と関わるあらゆる分野で活かせるものと思われませんが、特に、出版や放送等のマスメディアに関する仕事、商品の開発や企画、マーケティング等に関する仕事などでの活躍が期待されます。また、心理学の学びを活かし、福祉、教育、司法矯正等の領域において活躍することも可能です。

●公共政策コース

(1) カリキュラムのねらい

本コースで学ぶみなさんは、「社会にある問題を発見し、その解決策としての政策をデザインし、それを実行するための知識と技法、見識を磨くこと」が目標になります。ここに挙げた知識、技法、見識は、民間企業や公的な行政機関などのあらゆる組織において、また、家族や仲間、地域社会などでのさまざまな活動において近年求められる「ガバナンス」に関連する能力とも言えます。この能力をみなさんが着実に、かつ確実に身につけていけるように、本コースでは、①講義科目を「基礎」から「基幹」、そして「展開」というように配置し、専門的知識の蓄積を可能にしています。②講義で扱われた主題に則した演習科目を Semester ごとに配置し、講義で得られた知識を具体的な局面、場面において応用できる実践的な知へと高めていくことを可能にしています。また、「地域マネージャー」を養成するためのプログラムを提供し、地域が直面する課題を「政策」という視点から把握、探究し、社会に発信、提言できる素養を身につけることも可能にしています。

(2) 各年次の学習内容・到達目標

- 〈1年次〉
 - ・高校までに学習した「社会」にかかわる基本的な知識を習得している。
 - ・大学での学びに必須とされる文献読解の仕方と書き言葉による表現の仕方の基礎を身につけている。
- 〈2年次〉
 - ・社会の仕組みの概要を法学、政治学、社会学の基本的な知識を用いて説明することができる。
 - ・自分に関わる問題領域を具体的に確定することができる。
- 〈3年次〉
 - ・卒業論文で考察していく問題を特定し、それに関する基本文献を収集、読解することができる。
 - ・自らが考察を進める問題の実行可能な解決策をデザインするために必要な知識と技法を身につけている。
- 〈4年次〉
 - ・1年次生から蓄積してきた知識と技法を総合して、社会にある問題に対する解決策をデザインし、それを卒業論文として表現、他者に発信することができる。

(3) コースコア科目

公共政策コースでは、次の6科目を「コースコア科目」と位置づけ、コース所属学生には必ず履修するように勧められています。これらは、公共政策コースが提供する様々な科目の中で、コースの学びの核となる科目であり、公共政策分野について専門的に学んだと言えるための必要最小限の科目をピックアップしたものです。

	1春	1秋	2春	2秋	3春
基礎	法学概論	社会学概論			
基幹	現代史	日本政治論	公共哲学		公共政策

(4) 身につく力・将来の進路

本コースでは、社会にある問題を発見し、その解決策としての政策をデザインし、それを実行することができる、すなわちPDCAサイクルで行動する人間を養成します。具体的には、専門的知識を基礎としつつ、①戦略的思考ができる人間、②自分に対しても、そして家族、仲間、職場などの組織に対しても責任を担う人間、③労を惜しまない人間、④コンプライアンスを尊重する人間、⑤公と私の区別ができる人間、⑥相互に尊重し合う人間関係を築くことができる人間、⑦反応の良い人間、です。そしてみなさんには、卒業後、公務員、民間企業、非営利組織、大学院進学といった領域で、企画提案型営業職、企画職、総務職、研究職などの仕事に従事することが期待されています。

●国際文化コース

(1) カリキュラムのねらい

私たちは今、グローバル化というヒト、モノ、情報が国境をこえ地球規模で行き交う世界に生きています。そこで求められているのは、自分の文化についての知識をしっかりとちながら、異文化を尊重し理解し、さまざまな人とコミュニケーションができる能力をもった人材です。

国際文化や異文化理解というと、欧米文化というように国や地域を単位とした文化交流や英語によるコミュニケーションを連想する人が多いかもしれませんが、しかし、一つの国のなかにも外国にルーツをもつ人やさまざまな民族の人が暮らしていますし、同じ民族文化をもった人が国境を越えて広がっていたりもします。また、信仰や宗教といった精神文化や、音楽、ファッション、アニメといった芸術文化は、国境を越えて広がっています。私たちは、さまざまな側面においてインターナショナルな世界に暮らしているのです。とくに現在、急速に多文化化が進む日本社会では、外国語を学ぶことも大事ですが、日本文化や日本語を外国の人にきちんと伝えることができる知識をもつことも

大切です。少子化による労働不足に対応し、外国人移民導入に政策的な舵が切られ始めているのです。国際文化コースではこうした視点に立って、文化をキーワードに日本やのさまざまな事象について学び、現代社会が抱える諸問題を理解するとともに、フィールドワークによって現場で考え、異なる文化間の懸け橋となることができる人材の育成を目指しています。

(2) 各年次の学習内容・到達目標

- 〈1年次〉 現代世界を学ぶための土台となる基礎的な教養を身に付け、フィールド調査の基本的な技法を学んで現場に立つ体験をすることで、国際文化コースの専門的な学びに取り組むために必要な知識を習得します。
- 〈2年次〉 グローバリゼーションや日本をはじめとする世界各地の文化や社会、歴史、宗教について深く理解し、現代世界の諸問題について学び、それを通して自分の日常生活を広い視点から捉える力を身につけます。また、国内外での実習やプロジェクト科目などを通してフィールドで実践的に学び、コミュニケーション力をつけていきます。
- 〈3年次〉 セミでの学習を中心に、文献研究やフィールドワークによって問題を発見し、資料を収集・分析して課題解決に向けた企画の立案や提案をする力、プレゼンテーションの力をつけるとともに、インターンシップなどを通して、卒業後の進路を見据えた具体的なキャリア構築にむけた学習や活動に取り組みます。
- 〈4年次〉 大学4年間の学びの集大成として卒業論文を仕上げ、大学で学んだ知識と、他者を理解し、さまざまな人とコミュニケーションできる力を社会で活かせるように、キャリア構築を進めていきます。

(3) コースコア科目

国際文化コースでは、次の6科目を「コースコア科目」と位置づけ、コース所属学生には必ず履修するように勧められています。これらは、国際文化コースが提供する様々な科目の中で、コースの学びの核となる科目であり、国際文化分野について専門的に学んだと言えるための必要最小限の科目をピックアップしたものです。

	1春	1秋	2春	2秋
基礎	文化人類学	地域研究概論		
基幹		フィールド調査法	多文化共生論	比較宗教論
展開			中国地域研究、韓国地域研究、南アジア・東南アジア地域研究、中東・アフリカ地域研究のうち、どれか1科目	

(4) 身につく力・将来の進路

日本や世界の文化や社会について豊かな学識をもち、高い異文化理解能力と豊かなコミュニケーション能力をもって現場で実践的に活躍できる力を備えた人を育てていきます。国際文化コースの履修科目と、日本文化・日本語教師養成プログラム、地域公共政策士（文化コーディネーター）、博物館学芸員資格、社会調査士資格などの資格科目の履修を組み合わせることによって、さらに実践を積み充実した学習をすることが望まれます。卒業後は、いよいよ国際化する一般企業、文化政策や多文化共生に関わる行政職やNPO・NGO、国内外での日本語教師、国際協力事業やサービス業、グローバルな企業での活躍が期待されています。

●観光・地域デザインコース

(1) カリキュラムのねらい

観光というと、各地の名所を観て回ったり、名物を楽しんだりすること、あるいは、修学旅行などのような団体旅行をイメージする人が多いかもしれませんが。また地域活性化というと、人々の集うイベントや施設を計画したり、土産物を開発したりすることとと思っている人もいるでしょう。

もちろん、このようなことも、観光・地域デザインには必要です。しかし現在、観光・地域デザインの分野で求められているのは、単にその地域の歴史的な名所を案内するツアーを提供したり、大型の施設を建築するというような表面的な手法だけではありません。現代人の多様なニーズに応え、社会の急激な変化にも対応するためには、地域の様々な新たな資源を発見し、その魅力を広く体験してもらえようプロデュースすること、あるいはそれらの魅力を生かして、地域課題を解決し、地域の未来をデザインする必要があります。そこでは柔軟なものを見方を持ち、人々の出会いやコミュニケーションを創出する力が大切です。

本コースでは、文化人類学と観光学、建築学、都市デザイン学などの知見と方法を生かし、地域や社会をフィールドとして実体験を通じて学びます。また日本を含め世界各地の先進的な取組や事例についても学ぶことができます。さらに、それらの学びを生かして、実際の企画を立案実施できる実務能力の養成にも力点をおきます。

(2) 各年次の学習内容と到達目標

- 〈1年次〉 基礎的な知識を習得し、問題意識を育てます。観光・地域デザインの基本的な課題について理解し、観光・地域デザインに取り組む上で必要な知識を身につけることを目指します。
- 〈2年次〉 フィールドに出て、自ら課題を発見し、アイデアを持つ力を磨きます。現実の世界や地域社会で起きている様々な事象から、問題を見出し、それらの問題を、観光・まちづくりの知見に基づき考察・分析できるようになります。現実の世界や地域社会で起きている様々な事象に、関心を持つことができる力を養います。さらに、観光関係を主体として学ぶ学生は、旅行業取扱管理者試験の受験を目指した実務的学習にも取り組みます。
- 〈3年次〉 ゼミでの学習を深め、インターンシップ、資格試験などに挑戦します。自分の情報やアイデアを、議論などを通じて他者と共有でき、地域の魅力を発見し、課題分析に基づいた提案・企画をおこなうことができる力をつけていきます。現実社会のニーズに対応して、自ら周囲の人々との関係性を構築することができるようになることをめざします。行政や地域団体、また、ホテル・旅行業などでのインターンシップやプロジェクトなどにも参加します。
- 〈4年次〉 これまでの学習成果を元に、より実社会に出るまでに必要な知識と体験を重ねキャリア開拓に努めます。

(3) コースコア科目

観光・地域デザインコースでは、次の6科目を「コースコア科目」と位置づけ、コース所属学生には必ず履修するように勧めています。これらは、観光・地域デザインコースが提供する様々な科目の中で、コースの学びの核となる科目であり、観光・地域デザイン分野について専門的に学んだと言えるための必要最小限の科目をピックアップしたものです。

	1春	1秋	2春	2秋
基礎	観光学概論	地域デザイン概論		
基幹			観光ビジネス論	観光文化論 コミュニティデザイン論 地域調査法

(4) 身につく力、将来の進路

観光・地域デザインの基礎的な知識を持ち、課題発見をし、実社会で生かせる実務的、実践的な能力も兼ね備えた人材を育成します。インターンシップなどのキャリア教育や資格取得などにも力を入れるので、旅行、ホテル・サービス業はもちろんのこと、公務員をはじめ、コミュニケーション能力を生かして、一般企業への就職が可能になることが期待されます。

2022年度カリキュラム表 総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件			
全学共通科目	KBU アイ デン ティ ティ 科目	仏教入門	仏陀と法然に学ぶ人間学	2	必	講	(仲宗根充修) ○林雅清	1～	春	履修クラス指定 ※2 「仏教入門」と読替	2	必修4単位	
		京都 文教 入門	大学入門		1	必	講	林雅清 ○平岡聡	1～	春	全8回授業 履修クラス指定 ※2		1
			地域入門		1	必	講	(石田浩基) ○香川克 清水亜紀子 森正美	1～	秋			1
	教養 コア 科目	社会科学入門	2	選	講	鷓飼正樹	1～	秋	「社会科学論」と読替	6単位以上			
		哲学	2	選	講	(笹岡健太)	1～	春					
		宗教学	2	選	講	(朝香知己)	1～	秋					
		文学論	2	選	講	(千古利恵子)	1～	春					
		歴史学	2	選	講	(澤田裕子)	1～	春					
		芸術論	2	選	講	(今村美邦子)	1～	春					
		仏教学	2	選	講	平岡聡	1～	秋					
		浄土学	2	選	講	林雅清	1～	秋					
		民俗学	2	選	講	小林康正	1～	秋					
		日本国憲法	2	選	講	大西貴之	1～	春					
		統計学	2	選	講	(西岡暁廣)	1～	春					
		宇宙の科学	2	選	講	(磯部洋明)	1～	秋					
		生命の科学	2	選	講	(大西雄二)	1～	秋					
環境の科学	2	選	講	(阪元勇輝)	1～	秋	「環境論」と読替						
数学的思考法	2	選	講	-	1～	秋	非開講						
人権論	2	選	講	(小泉友則)	2～	秋							
言語と社会	2	選	講	K.ヤニ	1～	春							
倫理学	2	選	講	(笹岡健太)	2～	秋							
社会福祉	2	選	講	(森合真一)	1～	春							
リテ ラ シー 科目	学習	初年次演習		2	必	演	浅井暢子 鷓飼正樹 遠藤央 大西貴之 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 ○澤達大 杉本星子 多湖雅博 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 三浦潔 K.ヤニ 山本真一	1～	春	履修クラス指定 ※2	4	必修12単位を 含む20単位以 上 学習領域から 必修4単位、外 国語領域から 英語必修8単 位、ICT領域か ら2単位、健康・ スポーツ領域 から2単位、キャ リア領域から2 単位 を含め、合計20 単位以上	
		書<技法		2	必	講	(朝田佳尚) (佐藤量) (田島知之) ○平岡聡 (藤井友紀) (山口周子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは自分で登録			

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
外国語	英語	英語コミュニケーションⅠ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) O.L.S.リビー	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	
		英語コミュニケーションⅡ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) O.L.S.リビー	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	
		英語コミュニケーションⅢ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リビー	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	
		英語コミュニケーションⅣ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リビー	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	
		英語リーディングⅠ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	8

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
第二外国語	英語リーディングII	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングIII	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングIV	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションV	1	選	演	L.S.リバー	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語コミュニケーションVI	1	選	演	瀧澤正己 陸君	3～	秋	人数制限あり ※1		
	英語リーディングV	1	選	演	中窪靖 (山口和夫)	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語リーディングVI	1	選	演	中窪靖	3～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語I	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語II	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語III	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語IV	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語I	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	春	人数制限あり ※1		
	ドイツ語II	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	秋	人数制限あり ※1		
ドイツ語III	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	春	人数制限あり ※1			
ドイツ語IV	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	秋	人数制限あり ※1			

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件	
		スペイン語Ⅰ	1	選	演	(大久保英子)	1～	春	人数制限あり ※1	-	
		スペイン語Ⅱ	1	選	演	(大久保英子)	1～	秋	人数制限あり ※1		
		スペイン語Ⅲ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	春	人数制限あり ※1		
		スペイン語Ⅳ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅰ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	春/秋	人数制限あり ※1			
	中国語Ⅱ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	秋	人数制限あり ※1			
	中国語Ⅲ	1	選	演	林雅清	2～	春	人数制限あり ※1			
	中国語Ⅳ	1	選	演	林雅清	2～	秋	人数制限あり ※1			
	韓国語Ⅰ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	春	人数制限あり ※1			
	韓国語Ⅱ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	秋	人数制限あり ※1			
	韓国語Ⅲ	1	選	演	(平井清実)	2～	春	人数制限あり ※1			
	韓国語Ⅳ	1	選	演	(平井清実)	2～	秋	人数制限あり ※1			
	ICT	現代とICT	2	選	講	(枝富喜夫)	1～	春			2
	情報機器演習	2	選	演	(浅里京子) (岡本久仁子) (枝富喜夫)	1～	春/秋	人数制限あり ※1			
映像制作活用入門	2	選	演	(寺島亨)	1～	秋	人数制限あり ※1 「映像制作活用演習」と読替				
健康・スポーツ	体育実技	1	選	実技	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (高山優子)	1～	春/秋	人数制限あり ※1	2		
	ヒューマン・パフォーマンス	2	選	演	-	1～	春/秋	非開講			
	生涯スポーツ	2	選	演	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (久米雅) (辻哲夫) (三上純)	1～	春/秋	人数制限あり ※1			
	健康スポーツ支援演習	2	選	演	-	1～	秋	非開講			
	健康と地域	2	選	講	-	1～	春	非開講			
	健康科学	2	選	講	岡本浄実 (久米雅)	1～	春/秋				
キャリア	キャリアと自己形成	2	選	講	中西勝彦 ○松田真理子 ○三浦潔	1～	秋	履修クラス指定 「キャリアと自己形成A」と読替	2		
	キャリアと企業文化	2	選	講	中西勝彦	3～	春	「キャリアと自己形成B」と読替			

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
現場実践教育科目	地域ボランティア演習	2	選	演	大西巧 ○小林康正 島田香 ○平岡聡	2～	春/秋	人数制限あり ※1 「地域ボランティア演習A」と読替	2	2単位以上
	プロジェクト科目(地域)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 (岸岡洋介) 小林大祐 小林康正 澤達大 多湖雅博 (谷家優子) 中西勝彦 (中山良子) 安田ひろみ	2～	春	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IA」と読替		
					-					
	プロジェクト科目(テーマ)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 黒宮一太 小林大祐 中西勝彦 (中山良子) 林雅清 松田美枝 安田ひろみ	2～	秋	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IB」と読替		
	インターンシップ	2	選	実	単位認定委員会	2～	秋	人数制限あり ※2 ※3		
	地域インターンシップ	2	選	実	香川克 ○片山明久 黒宮一太 山本真一	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「地域インターンシップ事前指導」(春学期、1単位) + 「地域インターンシップ」(秋学期、1単位)(計2単位)と読替		
	海外インターンシップ	2	選	実	潘宏立	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「海外インターンシップ事前指導」(春学期、1単位) + 「海外インターンシップ」(秋学期、1単位)(計2単位)と読替		
	ボランティア論	2	選	講	岡本浄実 ○小林康正	2～	春/秋	「シチズンシップ論」と読替		

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件		
専門科目	専門基礎科目	総合社会学入門	2	必	講	鵜飼正樹 ○河本直樹	1～	春	オムニバス	必修2単位を含めて10単位以上	
		メディア研究概論	2	選	講	吹上裕樹	1～	春			
		社会心理学概論	2	選	講	(鈴木文子)	1～	春			
		経済学概論	2	選	講	筒井義郎	1～	春			
		経営学概論	2	選	講	多湖雅博	1～	秋			
		法学概論	2	選	講	大西貴之	1～	春			
		社会学概論	2	選	講	山崎晶	1～	秋			
		文化人類学	2	選	講	安田ひろみ	1～	春			
		地域研究概論	2	選	講	杉本星子	1～	秋	「国際地域研究概論」と読替		
		観光学概論	2	選	講	片山明久	1～	春			
地域デザイン概論	2	選	講	森正美	1～	秋					
専門基礎科目	経済・経営分野	経済統計学基礎	2	選	講	豊田宏樹	1～	秋	「データ分析入門」と読替	12単位以上	
		日本経済論	2	選	講	K.ヤニ	2～	秋			
		ミクロ経済学	2	選	講	山本真一	2～	春			
		マクロ経済学	2	選	講	K.ヤニ	2～	秋			
		簿記論	2	選	講	(伏見康子)	2～	春			
		経営組織論	2	選	講	平塚力	2～	春			
		経営戦略論	2	選	講	多湖雅博	2～	秋			
		マーケティング基礎	2	選	講	(羽田祥子)	2～	秋			
		メディア・社会心理分野	メディアリテラシー	2	選	講	山崎晶	1～	秋		
			メディア研究法	2	選	講	(彭永成)	2～	春		
	マスメディア論		2	選	講	(柳澤伸司)	2～	春			
	メディア史		2	選	講	小林康正	2～	秋			
	文化社会学		2	選	講	鵜飼正樹	2～	秋			
	コミュニケーションの心理		2	選	講	浅井暢子	1～	秋			
	社会心理学研究法		2	選	講	浅井暢子	2～	春			
	認知科学		2	選	講	(西山慧)	2～	春			
	組織心理学		2	選	講	未定	2～	秋			
	人間行動学		2	選	講	(劉礫岩)	2～	秋			
	公共政策分野	現代史	2	選	講	遠藤央	1～	春			
		日本政治論	2	選	講	黒宮一太	1～	秋			
		政策過程論	2	選	講	(山谷清志)	2～	秋			
		民法Ⅰ	2	選	講	大西貴之	1～	秋			
		民法Ⅱ	2	選	講	(栗山修)	2～	春			
		国際関係論	2	選	講	(佐々木太郎)	2～	春			
		行政学	2	選	講	(山谷清志)	2～	春			
		公共哲学	2	選	講	(下村智典)	2～	春			
		公共政策	2	選	講	山本真一	3～	春			
		フィールド調査法	2	選	講	金基淑	1～	秋			
	国際文化分野	多文化共生論	2	選	講	杉本星子	2～	春			
		グローバル化論	2	選	講	遠藤央	2～	秋			
国際協力論		2	選	講	(石川輝)	2～	秋	2023年度より非開講			
比較宗教論		2	選	講	安田ひろみ	2～	秋				
アジア地域論		2	選	講	潘宏立	2～	春				
欧米地域論		2	選	講	(河西瑛里子)	2～	秋				
日本社会論		2	選	講	(濱千代早由美)	2～	春				
日本史総論		2	選	講	(松波宏隆)	2～	春				
観光・地域デザイン分野		観光地理	2	選	講	(村田有司)	1～	春			
		観光文化論	2	選	講	(中島智)	2～	秋			
	観光ビジネス論	2	選	講	片山明久	2～	春				
	観光メディア論	2	選	講	(小畑博正)	2～	春				
	現代都市計画論	2	選	講	小林大祐	2～	春				
	コミュニティデザイン論	2	選	講	小林大祐	2～	秋				
	地域デザイン実践論	2	選	講	(滋野浩毅)	2～	秋				
	地域開発論	2	選	講	(井口貢)	2～	春				
	地域調査法	2	選	講	小林大祐	2～	秋				
	公共人類学	2	選	講	(早川公)	2～	秋				

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件	
経済・経営分野	金融論Ⅰ	2	選	講	豊田宏樹	2～	秋		20単位以上	
	金融論Ⅱ	2	選	講	豊田宏樹	3～	春			
	経済統計学	2	選	講	K.ヤニ	2～	秋			
	応用ミクロ経済学	2	選	講	筒井義郎	2～	秋			
	公共経済学	2	選	講	山本真一	2～	秋			
	開発経済論	2	選	講	(石川輝)	3～	春	「グローバル経済論」と読替		
	国際金融論	2	選	講	—	3～	秋	非開講		
	国際経済学	2	選	講	—	3～	秋	非開講		
	会計論	2	選	講	(伏見康子)	2～	秋			
	企業論	2	選	講	三浦潔	2～	秋			
	日本の企業経営	2	選	講	三浦潔	3～	春	2023年度より非開講		
	NPO論	2	選	講	平塚力	3～	春			
	人材マネジメント論	2	選	講	多湖雅博	3～	春			
	ソーシャル・ビジネス論	2	選	講	平塚力	3～	秋			
	商取引と法	2	選	講	(栗山修)	2～	春	2024年度より非開講		
	会社法	2	選	講	(栗山修)	2～	秋	2024年度より非開講		
	証券取引と法	2	選	講	(栗山修)	2～	秋	2024年度より非開講		
	メディア・社会心理分野	色彩論	2	選	講	河本直樹	2～	春		
		アートと社会	2	選	講	吹上裕樹	2～	春		
		ネットワーク論	2	選	講	(屋草素子)	2～	春		
映像メディア論		2	選	講	(唄邦弘)	2～	秋			
アパレル流行論		2	選	講	河本直樹	2～	秋			
消費行動の心理		2	選	講	浅井暢子	2～	秋			
犯罪の心理学		2	選	講	(中川知宏)	2～	秋	集中講義		
食とコミュニケーション		2	選	講	奥野克己	2～	春	2024年度より非開講		
ポピュラー文化論		2	選	講	鵜飼正樹	3～	春			
文化心理学		2	選	講	(谷口友梨)	3～	春	集中講義		
公共政策分野	身体文化論	2	選	講	(古川岳志)	3～	秋			
	紛争と解決	2	選	講	(中村友一)	2～	春			
	国際法総論	2	選	講	(上地 瑠美子)	2～	春			
	民法Ⅲ	2	選	講	(松久和彦)	2～	秋			
	民法Ⅳ	2	選	講	(松久和彦)	3～	春			
	行政法	2	選	講	(若狭愛子)	2～	秋			
	政治学総論	2	選	講	(中島啓勝)	2～	秋			
	デモクラシー論	2	選	講	(中島啓勝)	2～	秋			
	比較社会論	2	選	講	(朝香知己)	2～	秋			
	比較政治論	2	選	講	(中島啓勝)	2～	春			
国際文化分野	社会保障論	2	選	講	(齊藤拓)	2～	春			
	家族・ジェンダー論	2	選	講	遠藤央	2～	秋			
	地方自治と政策	2	選	講	(安藤加菜子)	2～	秋			
	日本地域研究	2	選	講	小林康正	2～	春	2025年度より非開講		
	南アジア・東南アジア地域研究	2	選	講	金基淑 ○馬場雄司	2～	春	2025年度より非開講		
	韓国地域研究	2	選	講	安田ひろみ	2～	春			
	中東・アフリカ地域研究	2	選	講	奥野克己	2～	秋	2024年度より非開講		
	中国地域研究	2	選	講	潘宏立	2～	秋			
	ヨーロッパ地域研究	2	選	講	(河西瑛里子)	2～	秋	2025年度より非開講		
	アメリカ地域研究	2	選	講	(山本晃輔)	2～	秋	2025年度より非開講		
外国史総論	2	選	講	(松波宏隆)	1～	秋				
国際教育論	2	選	講	(杉本均)	2～	春				
世界の食と農	2	選	講	(山本奈美)	2～	秋	2023年度より非開講			
国際コミュニケーション論	2	選	講	(佐々木太郎)	2～	秋				
考古学	2	選	講	(中島正)	2～	春	2023年度より非開講			

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
観光・地域デザイン分野	現代観光論	2	選	講	片山明久	2～	秋		
	観光政策論	2	選	講	(堀内史朗)	2～	春		
	観光デザイン論	2	選	講	(宮本茂樹)	2～	春		
	観光コミュニケーション論	2	選	講	(中島智)	2～	秋		
	都市と観光の社会学	2	選	講	(松岡慧祐)	2～	春		
	サービス・ホスピタリティ論	2	選	講	(今井真貴子)	2～	秋		
	世界遺産論	2	選	講	小林大祐	2～	秋		
	地域資源マネジメント論	2	選	講	(宮本茂樹)	2～	春		
	スポーツと地域	2	選	講	(中嶋大輔)	2～	秋		
	情報化社会と地域デザイン	2	選	講	杉本星子	2～	春	2023年度より非開講	
	福祉と地域デザイン	2	選	講	馬場雄司	2～	秋		
	京都の暮らしと地域デザイン	2	選	講	(大島祥子)	2～	春		
	音楽と癒し	2	選	講	馬場雄司	3～	春		
	京都ツーリズム論	2	選	講	(宮本茂樹)	2～	秋		
専門関連分野	地誌学	2	選	講	澤達大	1～	春		
	系統地理学	2	選	講	澤達大	1～	秋		
	外国語専門書講読Ⅰ	2	選	講	遠藤央	2～	春	2023年度より非開講	
	外国語専門書講読Ⅱ	2	選	講	平塚力	2～	秋	2023年度より非開講	
観光外国語	2	選	講	(沢田美保子)	2～	春			
基幹演習科目	総合社会学基礎演習	2	必	演	遠藤 央 大西 貴之 奥野克己 金基淑 黒宮 一太 小林大祐 小林康正 澤達大 多湖雅博 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 安田ひろみ 山崎晶 山本真一	1～	秋	履修クラス指定	16単位
	総合社会学演習Ⅰ	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 安田ひろみ K.ヤニ 山本真一	2～	春	履修クラス指定 ※2	

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
総合社会学演習Ⅱ	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 遠藤央 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 安田ひろみ K.ヤニ 山崎晶 山本真一	2～	秋	履修クラス指定 ※2	
総合社会学演習Ⅲ	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 遠藤央 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 (谷口友梨) 筒井義郎 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 森正美 安田ひろみ K.ヤニ (木島由晶) 山本真一	3～	春	履修クラス指定 ※2	

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
総合社会学演習Ⅳ	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 遠藤央 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 筒井義郎 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 森正美 安田ひろみ K.ヤニ 山崎晶 山本真一	3～	秋	履修クラス指定 ※2	
総合社会学演習Ⅴ	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 遠藤央 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 (谷口友梨) 筒井義郎 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 森正美 安田ひろみ K.ヤニ (木島由晶) 山本真一	4	春	履修クラス指定 ※2	

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
総合社会学演習Ⅵ	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 遠藤央 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 (谷口友梨) 筒井義郎 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 森正美 安田ひろみ K.ヤニ 山崎晶 山本真一	4	秋	履修クラス指定 ※2	
卒業論文	2	必	演	浅井暢子 鵜飼正樹 遠藤央 大西貴之 奥野克己 片山明久 河本直樹 金基淑 黒宮一太 小林大祐 小林康正 杉本星子 多湖雅博 (谷口友梨) 筒井義郎 豊田宏樹 馬場雄司 潘宏立 平塚力 吹上裕樹 三浦潔 森正美 安田ひろみ K.ヤニ 山崎晶 山本真一	4	春/秋	履修クラス指定 ※2 履修登録不要	

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
実習・表現・発信科目	総合社会学実習AⅠ	2	選	実	鵜飼正樹 小林大祐 (西岡暁廣) 潘宏立	2～	春	人数制限あり ※2	2単位以上
	総合社会学実習AⅡ	2	選	実	鵜飼正樹 小林大祐 (西岡暁廣) 潘宏立	2～	秋	人数制限あり ※2	
	総合社会学実習B	2	選	実	片山明久 澤達大	2～ 2～	秋 春	人数制限あり ※2	
	総合社会学実習C	2	選	実	多湖雅博	2～	秋	人数制限あり ※2	
	総合社会学実習D	2	選	実	○浅井暢子 (亀井隆幸)	2～	秋	人数制限あり ※2	
	総合社会学実習E	2	選	実	馬場雄司	2～	秋	人数制限あり ※2	
	総合社会学実習F	2	選	実	大西貴之	2～	秋	人数制限あり ※2	
	表現・発信系演習1	2	選	演	(山本晃輔)	1～	秋	人数制限あり ※1	
	表現・発信系演習2	2	選	演	中西勝彦	1～	秋	人数制限あり ※1	
	表現・発信系演習3	2	選	演	(松本篤)	2～	春	人数制限あり ※1	
	表現・発信系演習4	2	選	演	(鮎子田恵人)	2～	春	人数制限あり ※1	
	表現・発信系演習5	2	選	演	吹上裕樹	2～	秋	人数制限あり ※1	
	表現・発信系演習6	2	選	演	澤達大	2～	秋	人数制限あり ※1	
キャリア構築科目	総合社会学とキャリア構築	1	必	講	浅井暢子 ○黒宮一太	1～	春	全8回授業 履修クラス指定 ※2	必修1単位を含め 2単位以上
	社会に活かす大学での学び	1	選	講	○奥野克己 澤達大	3～	春	全8回授業	
	社会人の教養A	2	選	講	河本直樹	2～	秋	2025年度より非開講	
	社会人の教養B	2	選	講	澤達大 未定	3～	春	2024年度より非開講	
	エクスターンシップ実習	2	選	実	黒宮一太 中西勝彦 三浦潔 山本真一	3～	春	人数制限あり ※2	
	ソーシャルスキル演習	1	選	演	—	3～	秋	非開講	
	社会人基礎演習	2	選	演	未定	4	秋		
キャリア関連科目	実用簿記論Ⅰ	2	選	講	(伏見康子)	2～	春		
	実用簿記論Ⅱ	2	選	講	(伏見康子)	2～	秋		
	秘書実務論	2	選	講	(串田敏美)	2～	秋		
	旅行業論Ⅰ	2	選	講	(村田有司)	2～	春		
	旅行業論Ⅱ	2	選	講	(村田有司)	2～	春		
	旅行実務論Ⅰ	2	選	講	片山明久	2～	春		
	旅行実務論Ⅱ	2	選	講	片山明久	2～	春	集中講義	
	公務員プログラム講義Ⅰ	2	選	講	大西貴之	3～	春		
	公務員プログラム講義Ⅱ	2	選	講	(小田勇一)	3～	春		
	公務員プログラム講義Ⅲ	2	選	講	大西貴之	3～	秋		
	地域公共政策士総合演習A	1	選	演	山本真一	3～	秋	全8回授業 ※2	
	地域公共政策士総合演習B	1	選	演	杉本星子	3～	秋	全8回授業 ※2	
	地域公共政策士総合演習C	1	選	演	黒宮一太	3～	秋	全8回授業 ※2	
グローバル人材PBL演習	2	選	演	三浦潔	3～	秋	※2		

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件	
資格関連科目	教職に関する科目	教職概論	2	選	講	大西巧	1～	春	※3	
		教育学概論	2	選	講	大西巧	1～	秋	※3	
		教育史	2	選	講	大西巧	2～	秋	2024年度より非開講 ※3	
		教育社会学	2	選	講	大西巧	2～	春	※3	
		同和教育論	2	選	講	(澤田清人)	2～	秋	※3	
		特別支援教育概論(中・高)	1	選	講	(西山剛司)	3～	秋	※3 全8回授業	
		カリキュラム論	2	選	講	(小林みどり)	3～	秋	※3	
		社会科教育法	2	選	講	澤達大	2～	秋	※3	
		社会科・公民科教育法	2	選	講	(濱良祐)	2～	秋	※3	
		社会科・公民科授業実践論	2	選	講	(島本由紀)	3～	秋	※3	
		授業研究(社会・公民)	2	選	講	澤達大	3～	春	※3	
		道徳教育指導論	2	選	講	(田中潤一)	3～	秋	※3	
		総合的な学習の時間の指導法(中・高)	1	選	講	澤達大	3～	春	※3 全8回授業	
		特別活動論	2	選	講	(浅田瞳) (原清治)	3～	春	集中講義 ※3	
		教育方法・技術論	2	選	講	(真下知子)	3～	春	※3	
		生徒・進路指導論	2	選	講	澤 達大	3～	秋	※3	
		教育相談	2	選	講	(荒井久美子)	3～	春	※3	
		教育実習指導	2	選	演	澤達大	4	春	※3	
		教育実習A	2	選	実	澤達大	4	春/秋	※3	
		教育実習B	4	選	実	澤達大	4	春/秋	※3	
教職実践演習(中・高)	2	選	演	大西巧 ○澤達大	4	秋	※3			
介護等体験特講	1	選	講	大前暁政 ○澤達大 橋本祥夫	3～	秋	※3 全8回授業			
博物館学に関する科目	生涯学習概論	2	選	講	(飯田優美)	2～	春	※3		
	博物館概論	2	選	講	(井上敏)	1～	秋	※3		
	博物館経営論	2	選	講	(田中祥子)	2～	春	※3		
	博物館資料論	2	選	講	(坂本博司)	2～	春	※3		
	博物館資料保存論	2	選	講	(伊達仁美)	2～	春	※3		
	博物館展示論	2	選	講	(荻野裕子)	2～	秋	※3		
	博物館情報・メディア論	2	選	講	(田中祥子)	2～	秋	※3		
	博物館教育論	2	選	講	(五月女賢司)	2～	春	※3		
	博物館実習A	1	選	実	(坂本博司)	2～	秋	※3		
	博物館実習B	1	選	実	(坂本博司)	3～	春	※2 ※3		
	博物館実習C	1	選	実	杉本星子	3～	秋	※2 ※3		

総合社会学部総合社会学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
資格科目 社会調査士 ムに 日本文化・日本語教師養成プログラム	社会調査入門	2	選	講	(仲尾友貴恵)	1～	春	※3	
	社会調査方法論	2	選	講	(仲尾友貴恵)	1～	秋	※3	
	量的調査法	2	選	講	(西岡暁廣)	2～	春	※3	
	日本語をまなぶ／おしえる	1	選	講	(平井清実)	1～	秋	※3 全8回授業	
	日本語の歴史と方言	1	選	講	(河本雅一)	2～	春	※3 全8回授業	
	日本語教授法	2	選	講	(安田矩子)	2～	春	※3	
	日本語のしくみ	2	選	講	(河本雅一)	2～	秋	※3	
	音声学	1	選	講	(河本雅一)	3～	春	※3	
	日本語と外国語	1	選	講	奥野克己 金基淑 瀧澤正己 馬場雄司 ○潘宏立 安田ひろみ K.ヤニ	3～	秋	※3 オムニバス 全8回授業	
	日本語教育実習	2	選	実	杉本星子	3～	秋	※2 ※3	

【備考】

- 2021年度入学の3年次編入学生対象
- 用語の解説
区分:「必」→必修、「選」→選択、「選必」→選択必修 授業方法:「講」→講義、「演」→演習、「実」→実習、「験」→実験
- 担当者について
名前に()のついている担当者は、非常勤講師を表す。
- クラス指定の科目について
「履修クラス指定」→履修するクラスが個別に分けられています。
- 科目に関する注意事項
※1 抽選科目
※2 事前登録科目
※3 履修単位数の制限を超えて登録できる科目
▶ クラス分けについての連絡は、掲示板・HPで確認してください。
- その他
○は科目代表者

【卒業の要件】

全学共通科目										専門科目						その他	
KBU アイデンティティ科目		教養コア 科目	リテラシー科目						現場実践 科目	専門基礎 科目	専門基幹 科目	専門展開 科目	基幹演習 科目	実習・表 現・発信 科目	キャリア構 築 科目	キャリア関 連 科目	他学科、単 位互換、資 格関連 科目等
仏教 入門	京都 文 教 入 門		学習	言語		ICT	健康・ スポーツ	キャリア									
				英語	第二外国語												
2単位	2単位	6単位	4単位	3単位	—	2単位	2単位	2単位	2単位	10単位	12単位	20単位	16単位	2単位	2単位	—	—
4単位			20単位														
32単位(a)										62単位(b)							
30単位(上記いずれの区分からでも良い)(C)																	
(a)+(b)+(C)合計124単位																	

【卒業要件のよくあるミス】

- ・ 124単位取得したが、ある区分の必要単位数を満たしていなかった
- ・ 124単位取得したが、修得していない必修・選択必修科目が残っていた
- ・ 履修登録時点では124単位だったが、最後に単位が取得できなかった

これらの結果、「1単位不足で卒業できなかった」、「(卒業ができず)内定が取り消された」などの事例が報告されています。必ず、各区分ごとの指定単位数を満たしていること、また、必修・選択必修科目を指定されたとおりすべて修得していることを各自で確認してください。(事務局では卒業の可否チェックは行いません。不明な点があれば、担当教員に相談してください。)

3 臨床心理学部

臨床心理学部の3つのポリシー

<アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）>

「臨床心理学部」では、臨床心理学の専門家としてのみならず社会の幅広い分野において、臨床心理学的な教養を生かしていこうとする意欲ある人、社会における自他のコミュニケーションのあり方に対する洞察力を身につけるとともに、「こころ」に関心をもち、他者や社会に実際に貢献できる力を身につけようとする人、病気や障害をもつ人たちと共に生きる社会の実現に主体的に取り組もうとする人など、社会の様々な領域において、自己と他者とが共に「生かし合う関係」を主体的に構築しようとする人を入学生として求めている。

<カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）>

「臨床心理学部」では、「全学共通科目・基幹演習科目」（基礎）、「専門コミュニケーション科目・心理学科目・臨床心理学科目」（専門）、「心理学実験査定科目」（実験）、「卒業論文」（研究）など基幹となる科目群を設置している。

さらに、学びの焦点に合わせて「深層心理コース」「子ども・青年心理コース」「医療・福祉心理コース」「ビジネス・経営心理コース」を設け、各コースの特色を生かした授業を実施する。

臨床心理学的な知識や技術を生かして、社会の多様な領域で活躍できる、現場実践力を高めるために、1年次からキャリア関連科目を配当している。より専門的な公認心理師資格、精神保健福祉士資格のために必要な科目群も設置している。

<ディプロマポリシー（学位授与方針）>

「仏教の四弘誓願」を基礎とする建学の精神と臨床心理学的な教養に基づき、自己と他者とが共に「生かし合う関係」を主体的に構築できる人材を社会の様々な分野に送り出すことによって、人間関係が豊かな社会の実現に貢献できる人材の育成を目指す。特に、臨床心理学的援助に対する体験的な学習に基づき、臨床心理学的な知識や技術や方法と言語的、非言語的コミュニケーションの大切さを学び、他者や社会に実際に貢献できる力を養う。

臨床心理学のキャリアム

1. カリキュラムの成り立ち

臨床心理学では、臨床心理学の知識や技術を生かし、社会の多様な領域で活躍できる人材の育成をめざしています。新しい時代を生き抜くために、カウンセリングや心理療法を中心とした臨床心理学の経験と知識を生かした「コミュニケーション力」を育てることを教育の根本にしています。そして、カウンセリング・心理療法などの狭義の心理療法場面にとらわれることなく、より広い視野のもとで人や社会と生きたかかわりを持ち、自分の生きる意欲を見出し、他者を助け、自ら行動できる力をもった社会人を積極的に育成することを基本理念としています。

このような理念のもと、次のような科目群を置いています。

- 「基幹演習科目群」：全学共通科目の初年次演習とあわせて、4年間を通じて演習形式の少人数クラスでの学びを重視した授業を行い、4年次生の卒業論文作成までの指導を行います。臨床心理学の学生の必修科目となっています。
- 「専門コミュニケーション科目群」：コミュニケーション力を養う上での中核となる科目と、多様な臨床心理学的実践の一端に触れる実践演習科目から構成されます。
- 「専門科目群」：心理学の幅広い領域を学ぶ心理学科目と、心理学実験法や研究法を体験的に学ぶ心理学実験査定科目、本学専任の教員を中心に、臨床心理学の魅力伝える臨床心理学科目から構成されます。

以上に加えて、より幅広い教養を身につけるための全学共通科目群や、より専門的な対人援助力を身につけるための公認心理師資格、精神保健福祉士資格、教員免許資格科目群があります。

臨床心理学の学生全員へ

履修登録を進めるにあたり、臨床心理学を専門的に学ぶ上でこういった取り方をしていくとより深く臨床心理学を学べるのではないか、という大まかな履修のモデルを、専門科目についてのみ、年次ごとに整理しました。

本学科の専門科目のなかには、卒業するまでにとらなければいけない科目（必修科目）の他、選択科目ではあるものの【積極的な履修を推奨する科目】があります。

これはあくまでモデルですので、このとおりにしなければならないということではありませんが、ぜひ念頭において、カリキュラム表をみながら履修登録を進めてください。

【1年次】

必修科目

「初年次演習」（春）は、全学共通科目ですが、大学で学ぶための基本的な学習スキルを身につける1年次最初のゼミとなります。「コミュニケーションスキル演習」（秋）では、さまざまな課題の実践を通して、より良いコミュニケーションがおこなえるようになることを目指します。

また、講義科目である「臨床心理学概論」（秋）では、臨床心理学の成立の歴史を知り、臨床心理学諸科目で役立つ基本的知識を習得し、学問の全体像をつかむことを目指します。

積極的な履修を推奨する科目

「心理学概論」（春）では、心理学という学問領域において心がどのように解明されてきたのかを知ることを通して、心理学とは何かについての基本的な理解を得ます。

必修科目である「コミュニケーションスキル演習」と並行して秋学期に開講されるのが、講義科目である「臨床コミュニケーション論」（秋）です。実践的な演習とともに履修することでさらなる学びが得られます。また、オムニバスで専任教員が講義をしますので、2年次からのゼミ選択をする際に大いに参考になります。

「臨床心理学とキャリア構築」（春）・「キャリアと自己形成」（秋）では、本学部の教員や在校生や卒業生の現在に至るまでのキャリアについて話を聞くことも含め、自身の将来のキャリアに臨床心理学をどう活かすかどのような進路選択が可能なのかを考えます。

【2年次】**必修科目**

「臨床心理学基礎演習」（春）・「臨床心理学演習」（秋）が2年次のゼミ科目となります。1年次のゼミとは異なり、自分でどのゼミで学ぶかを選択して希望します。

積極的な履修を推奨する科目

「心理学実験入門」（春）では、基礎的な心理学実験を通して、心理学研究法の基礎である実験的アプローチへの理解を深めます。「心理的アセスメント入門」（秋）では、代表的な心理検査を体験し、臨床心理学のひとつの柱である心理査定を学びます。

「臨床心理学実践演習」（春・秋）は本学科の目玉科目のひとつで、抽選エントリー科目となります。心理臨床の実践において用いられるさまざまな心理療法の技法を、自分の興味関心に応じて自由に学ぶことができます。本科目は2年次以降でも履修が可能なので、2年次以降も積極的な履修を推奨します。

また、心理学研究を進める上で大切な科目は、「心理学統計法」（秋）・「心理学研究法」（春）です。

「心理学統計法」（秋）では、実験演習や卒業研究において研究計画が立てられるよう、統計学の基礎を学び、「心理学研究法」（春）では、臨床心理学における諸研究計画法とそれに適合したデータ解析方法を身につけます。

【3年次】**必修科目**

「臨床心理学研究法演習Ⅰ」（春）・「臨床心理学研究法演習Ⅱ」（秋）が3年次のゼミとなります。3年次ゼミでは、特に秋学期以降は卒業論文に向けた準備をしていきます。

積極的な履修を推奨する科目

「社会に活かす臨床心理学」（春）は、就職活動を前に、改めて自分の進路決定を意識した科目になっています。さまざまな分野（教育・福祉・医療・企業など）で活躍している本学部の卒業生の話は、進路を決定する上でとても役立ちます。

「外国書講読Ⅰ」（春）・「外国書講読Ⅱ」（秋）は、どちらも大学院進学を考えている人に履修を推奨します。この授業では、専門分野の洋書を輪読することで、大学院入試に必要な語学力や専門知識を養います。

【4年次】**必修科目**

「臨床心理学総合演習Ⅰ」（春）・「臨床心理学総合演習Ⅱ」（秋）が4年次のゼミになります。3年次ゼミにひきつづき、本格的に「卒業論文」（春・秋）を執筆していきます。

積極的な履修を推奨する科目

「社会人基礎演習」（秋）は、特に卒業後、就職する進路を選択する人に履修を推奨します。この授業では、社会人として求められる基礎力（前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力）の涵養を目指します。

また、最終年次ですので、1～3年次に積極的な履修を推奨する科目をもう一度見直し、取りこぼしのないよう履修してください。

2022年度カリキュラム表 臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件		
全学共通科目	KBU アイデンティティ 科目	仏教入門	仏陀と法然に学ぶ人間学	2	必	講	(仲宗根充修) ○林雅清	1~	春	履修クラス指定 ※2 「仏教入門」と読替	2	必修4単位
		京大 文教入門	大学入門	1	必	講	林雅清 ○平岡聡	1~	春	全8回授業 履修クラス指定 ※2	1	
			地域入門	1	必	講	(石田浩基) ○香川克 清水亜紀子 森正美	1~	秋	全8回授業 履修クラス指定 ※2	1	
	教養コア科目	社会科学入門	2	選	講	鵜飼正樹	1~	秋	「社会科学論」と読替	6単位以上		
		哲学	2	選	講	(笹岡健太)	1~	春				
		宗教学	2	選	講	(朝香知己)	1~	秋				
		文学論	2	選	講	(千古利恵子)	1~	春				
		歴史学	2	選	講	(澤田裕子)	1~	春				
		芸術論	2	選	講	(今村美邦子)	1~	春				
		仏教学	2	選	講	平岡聡	1~	秋				
		浄土学	2	選	講	林雅清	1~	秋				
		民俗学	2	選	講	小林康正	1~	秋				
		日本国憲法	2	選	講	大西貴之	1~	春				
		統計学	2	選	講	(西岡暁廣)	1~	春				
		宇宙の科学	2	選	講	(磯部洋明)	1~	秋				
		生命の科学	2	選	講	(大西雄二)	1~	秋				
		環境の科学	2	選	講	(阪元勇輝)	1~	秋	「環境論」と読替			
数学的思考法	2	選	講	-	1~	秋	非開講					
人権論	2	選	講	(小泉友則)	2~	秋						
言語と社会	2	選	講	K.ヤニ	1~	春						
倫理学	2	選	講	(笹岡健太)	2~	秋						
社会福祉	2	選	講	(森合真一)	1~	春						
リテラシー科目	学習	初年次演習	2	必	演	井上嘉孝 上田紗津貴 禹鍾泰 川畑直人 倉西宏 ○清水亜紀子 鈴木孝 千秋佳世 高石浩一 平尾和之 松田真理子 三林真弓	1~	春	履修クラス指定 ※2	4	必修12単位を含む20単位以上 学習領域から必修4単位、外国語領域から英語必修8単位、第二外国語から2単位、ICT領域から2単位、健康・スポーツ領域から2単位、キャリア領域から2単位 を含め、合計20単位以上	
		書く技法	2	必	講	(朝田佳尚) (佐藤量) (田島知之) ○平岡聡 (藤井友紀) (山口周子)	1~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは自分で登録			

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
外国語	英語				(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウィリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) O.L.S.リピー	1~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅡ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウィリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) O.L.S.リピー	1~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅢ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウィリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リピー	2~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅣ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウィリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リピー	2~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングⅠ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	8	

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
第二外国語	英語リーディングⅡ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	-	
	英語リーディングⅢ	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングⅣ	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅤ	1	選	演	L.S.リビー	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語コミュニケーションⅥ	1	選	演	瀧澤正己 陸君	3～	秋	人数制限あり ※1		
	英語リーディングⅤ	1	選	演	中窪靖 (山口和夫)	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語リーディングⅥ	1	選	演	中窪靖	3～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅰ	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅱ	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅲ	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅳ	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅰ	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	春	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅱ	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅲ	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	春	人数制限あり ※1		
ドイツ語Ⅳ	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	秋	人数制限あり ※1			
スペイン語Ⅰ	1	選	演	(大久保英子)	1～	春	人数制限あり ※1			
スペイン語Ⅱ	1	選	演	(大久保英子)	1～	秋	人数制限あり ※1			
スペイン語Ⅲ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	春	人数制限あり ※1			
スペイン語Ⅳ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	秋	人数制限あり ※1			
中国語Ⅰ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	春/秋	人数制限あり ※1	2		
中国語Ⅱ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	秋	人数制限あり ※1			

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件	
		中国語Ⅲ	1	選	演	林雅清	2～	春	人数制限あり ※1	2	
		中国語Ⅳ	1	選	演	林雅清	2～	秋	人数制限あり ※1		
		韓国語Ⅰ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	春	人数制限あり ※1		
		韓国語Ⅱ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	秋	人数制限あり ※1		
		韓国語Ⅲ	1	選	演	(平井清実)	2～	春	人数制限あり ※1		
		韓国語Ⅳ	1	選	演	(平井清実)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	ICT	現代とICT	2	選	講	(枝富喜夫)	1～	春			2
		情報機器演習	2	選	演	(浅里京子) (岡本久仁子) (枝富喜夫)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		
		映像制作活用入門	2	選	演	(寺島亨)	1～	秋	人数制限あり ※1 「映像制作活用演習」と読替		
	健康・スポーツ	体育実技	1	選	実技	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (高山優子)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		2
		ヒューマン・パフォーマンス	2	選	演	-	1～	春/秋	非開講		
		生涯スポーツ	2	選	演	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (久米雅) (辻哲夫) (三上純)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		
		健康スポーツ支援演習	2	選	演	-	1～	秋	非開講		
		健康と地域	2	選	講	-	1～	春	非開講		
健康科学		2	選	講	岡本浄実 (久米雅)	1～	春/秋				
キャリア	キャリアと自己形成	2	選	講	中西勝彦 ○松田真理子 ○三浦潔	1～	秋	履修クラス指定 「キャリアと自己形成A」と読替	2		
	キャリアと企業文化	2	選	講	中西勝彦	3～	春	「キャリアと自己形成B」と読替			

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
現場実践教育科目	地域ボランティア演習	2	選	演	大西巧 ○小林康正 島田香 ○平岡聡	2～	春/秋	人数制限あり ※1 「地域ボランティア演習A」と読替	2	2単位以上
	プロジェクト科目(地域)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 (岸岡洋介) 小林大祐 小林康正 澤達大 多湖雅博 (谷家優子) 中西勝彦 (中山良子) 安田ひろみ	2～	春	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IA」と読替		
					-					
	プロジェクト科目(テーマ)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 黒宮一太 小林大祐 中西勝彦 (中山良子) 林雅清 松田美枝 安田ひろみ	2～	秋	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IB」と読替		
	インターンシップ	2	選	実	単位認定委員会	2～	秋	人数制限あり ※2 ※3		
	地域インターンシップ	2	選	実	香川克 ○片山明久 黒宮一太 山本真一	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「地域インターンシップ事前指導」(春学期、1単位)+「地域インターンシップ」(秋学期、1単位)(計2単位)と読替		
	海外インターンシップ	2	選	実	潘宏立	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「海外インターンシップ事前指導」(春学期、1単位)+「海外インターンシップ」(秋学期、1単位)(計2単位)と読替		
	ボランティア論	2	選	講	岡本浄実 ○小林康正	2～	春/秋	「シチズンシップ論」と読替		

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
専門科目 基幹演習科目群	コミュニケーションスキル演習	2	必	演	井上嘉孝 上田紗津貴 倉西宏 清水亜紀子 ○鈴木孝 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 二本柳覚 濱野清志 松田美枝 未定	1～	秋	履修クラス指定 ※2	必修16単位
	臨床心理学基礎演習	2	必	演	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 倉西宏 清水亜紀子 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 二本柳覚 濱野清志 平尾和之 松田真理子 三林真弓	2～	春	履修クラス指定 ※2	
	臨床心理学演習	2	必	演	井上嘉孝 禹鍾泰 川畑直人 倉西宏 清水亜紀子 千秋佳世 高石浩一 二本柳覚 平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	2～	秋	履修クラス指定 人数制限あり ※2	
	臨床心理学研究法演習Ⅰ	2	必	演	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 清水亜紀子 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 濱野清志 平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	3～	春	人数制限あり ※2	
	臨床心理学研究法演習Ⅱ	2	必	演	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 清水亜紀子 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 濱野清志 平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	3～	秋	人数制限あり ※2	

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件	
基幹演習科目群	臨床心理学総合演習Ⅰ	2	必	演	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 濱野清志 平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	4	春	人数制限あり ※2		
	臨床心理学総合演習Ⅱ	2	必	演	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 濱野清志 平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	4	秋	人数制限あり ※2		
	卒業論文	2	必	-	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 濱野清志 平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	4	春/秋	履修登録不要		
専門コミュニケーション科目群	臨床コミュニケーション論	2	選	講	井上嘉孝 禹鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 清水亜紀子 千秋佳世 高石浩一 名取琢自 二本柳覚 濱野清志 ○平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓	1~	秋	オムニバス	4単位以上	
	臨床心理学実践演習(カウンセリング1)	1	選	演	鈴木孝	2~	春/秋	人数制限あり ※1 全8回授業		
	臨床心理学実践演習(カウンセリング2)	1	選	演	香川克	2~	春			
	臨床心理学実践演習(カウンセリング3)	1	選	演	上田紗津貴	2~	秋			
	臨床心理学実践演習(芸術療法1)	1	選	演	松田真理子	2~	春/秋	各学期1科目のみ履修可能。 ただし、下記科目から1科目に 限り追加履修を可とする。		
	臨床心理学実践演習(芸術療法2)	1	選	演	-	2~	春/秋			
	臨床心理学実践演習(芸術療法3)	1	選	演	濱野清志	2~	秋			
	臨床心理学実践演習(箱庭療法1)	1	選	演	千秋佳世	2~	春/秋	臨床心理学実践演習 グループアプローチ1 グループアプローチ2 グループアプローチ3		
	臨床心理学実践演習(箱庭療法2)	1	選	演	-	2~	秋			
	臨床心理学実践演習(箱庭療法3)	1	選	演	名取琢自	2~	秋			
	臨床心理学実践演習(箱庭療法4)	1	選	演	清水亜紀子	2~	春/秋			
	臨床心理学実践演習(夢分析1)	1	選	演	禹鍾泰	2~	春/秋			
	臨床心理学実践演習(夢分析2)	1	選	演	名取琢自	2~	春	「臨床心理学実践演習(芸術療法2)」「臨床心理学実践演習(精神科診断学)」は 2022年度非開講		
	臨床心理学実践演習(夢分析3)	1	選	演	井上嘉孝	2~	春/秋			
	臨床心理学実践演習(フォーカシング)	1	選	演	(矢野キエ)	2~	春			
	臨床心理学実践演習(マインドフルネス)	1	選	演	三林真弓	2~	春			
	臨床心理学実践演習(ボディワーク)	1	選	演	濱野清志	2~	春			

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
専門科目群	臨床心理学実践演習(ダンス/ムーブメントセラピー)	1	選	演	(廣瀬優希)	2～	春/秋		
	臨床心理学実践演習(グループアプローチ1)	1	選	演	高石浩一	2～	秋		
	臨床心理学実践演習(グループアプローチ2)	1	選	演	名取琢自	2～	秋		
	臨床心理学実践演習(グループアプローチ3)	1	選	演	三林真弓	2～	秋		
	臨床心理学実践演習(精神科診断学)	1	選	演	-	2～	春/秋		
	心理演習	2	選	演	井上嘉孝 馬鍾泰 香川克 川畑直人 倉西宏 清水亜紀子 ○千秋佳世 高石浩一 中島恵子 名取琢自 濱野清志 平尾和之 松田真理子 三林真弓 山崎基嗣	3～	春	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定	
	心理実習A	1	選	実	井上嘉孝 香川克 川畑直人 ○倉西宏 千秋佳世 高石浩一 濱野清志 平尾和之 松田真理子 山崎基嗣	3～	秋	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定	
	心理実習B	1	選	実	井上嘉孝 馬鍾泰 香川克 ○倉西宏 清水亜紀子 名取琢自 濱野清志 三林真弓	4	春	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定	
	外国書講読Ⅰ	2	選	演	(細川亜希)	3～	春		
	外国書講読Ⅱ	2	選	演	(細川亜希)	3～	秋		
臨床心理学とキャリア構築	1	選	講	清水亜紀子	1～	春	全8回授業		
社会に活かす臨床心理学	1	選	講	馬鍾泰	3～	春	全8回授業		
社会人基礎演習	2	選	演	未定	4	秋			
専門科目群 (心理学科目)	心理学概論	2	選	講	井上嘉孝	1～	春		必修2単位を含め、34単位以上
	知覚・認知心理学	2	選	講	(西山慧)	2～	春		
	学習・言語心理学	2	選	講	(後藤崇志)	2～	秋		
	感情・人格心理学	2	選	講	山崎基嗣	2～	秋		
	神経・生理心理学	2	選	講	中島恵子	2～	春		
	発達心理学	2	選	講	(西元直美)	2～	春		
	教育心理学	2	選	講	(松島るみ)	2～	春		
	社会心理学	2	選	講	(難波久美子)	2～	秋		
	心理学統計法	2	選	講	○上田紗津貴 鈴木孝 未定	2～	秋		
	心理学研究法	2	選	講	上田紗津貴 ○鈴木孝	2～	春		

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
専門科目群 (心理学実験査定科目)	心理学実験入門	2	選	験	井上嘉孝 上田紗津貴 ○鈴木孝 (茂本由紀) (鈴木史子)	2～	春	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定 ・週2コマ開講	
	心理的アセスメント入門	2	選	験	上田紗津貴 倉西宏 ○鈴木孝 (鈴木史子) 未定	2～	秋	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定 ・週2コマ開講	
	心理学実験	2	選	演	上田紗津貴 ○清水亜紀子 鈴木孝 (西山慧)	3～	春	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定	
	心理的アセスメント	2	選	演	上田紗津貴 ○清水亜紀子 鈴木孝 未定	3～	秋	・人数制限あり ※2 ・履修クラス指定	
専門科目群 臨床心理学科目)	臨床心理学概論	2	必	講	濱野清志	1～	秋		
	物語と臨床心理学	2	選	講	倉西宏	1～	秋		
	宗教と臨床心理学	2	選	講	(西平直)	2～	春	集中講義	
	カウンセリング心理学	2	選	講	三林真弓	2～	春		
	心理療法学	2	選	講	高石浩一	2～	春		
	日本の心理療法	2	選	講	(田中櫻子)	2～	秋		
	芸術療法	2	選	講	千秋佳世	2～	秋		
	深層臨床心理学	2	選	講	名取琢自	2～	春		
	精神分析学	2	選	講	(鈴木健一)	2～	春	集中講義	
	ユング心理学	2	選	講	馬鍾泰	2～	春		
	トランスパーソナル心理学	2	選	講	(鏡リュウジ) ○濱野清志	2～	春		
	子ども学	2	選	講	三林真弓	2～	秋		
	発達臨床学	2	選	講	(柴田長生)	2～	秋		
	青年の心理と行動	2	選	講	香川克	1～	秋		
	社会・集団・家族心理学	2	選	講	名取琢自	2～	秋		
	コミュニティ心理学	2	選	講	(難波愛)	2～	春		
	教育・学校心理学	2	選	講	香川克	2～	春		
	セクシュアリティと心理臨床	2	選	講	(葛西真記子)	2～	春	集中講義	
	健康・医療心理学	2	選	講	松田真理子	2～	春		
	精神疾患とその治療Ⅰ	2	選	講	平尾和之	2～	春		
	精神疾患とその治療Ⅱ	2	選	講	平尾和之	2～	秋		
	精神保健学A	2	選	講	松田美枝	3～	春		
	精神保健学B	2	選	講	松田美枝	3～	秋		
	福祉心理学	2	選	講	松田美枝	2～	春		
	障害者・障害児心理学	2	選	講	(金山由美)	2～	秋		
	司法・犯罪心理学	2	選	講	川畑直人	2～	秋		
	対人社会心理学	2	選	講	川畑直人	2～	春		
	産業・組織心理学	2	選	講	川畑直人 ○中島恵子	2～	秋		
	公認心理師の職責	2	選	講	川畑直人	4	秋		
	心理学的支援法	2	選	講	川畑直人	2～	秋		
	関係行政論	2	選	講	二本柳覚	3～	秋		
	保健医療サービス	2	選	講	-	1～	秋	非開講	
	人体の構造と機能及び疾病	2	選	講	(石岡千寛)	1～	春		
精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	2	選	講	二本柳覚	2～	春	「ソーシャルワークの基盤と専門職」と読替		
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2	選	講	-	2～	秋	非開講		
精神保健福祉科目)	精神保健福祉の理論と相談援助の展開A	2	選	講	松田美枝	2～	春	「ソーシャルワークの理論と方法A」と読替	
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開B	2	選	講	松田美枝	2～	秋	「ソーシャルワークの理論と方法B」と読替	
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開C	2	選	講	二本柳覚	3～	春		
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開D	2	選	講	二本柳覚	3～	秋		
	精神保健福祉に関する制度とサービスA	2	選	講	-	2～	春	非開講	
	精神保健福祉に関する制度とサービスB	2	選	講	-	2～	秋	非開講	
	精神障害者の生活支援システム	2	選	講	(菊池彰倫)	3～	春		
	社会保障A	2	選	講	(齋藤拓)	2～	秋		
社会保障B	2	選	講	(齋藤拓)	3～	春			

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件		
専門科目	社会科学系科目群	低所得者に対する支援と生活保護制度	2	選	講	(奥森祥陽)	3～	春	2023年度以降非開講	4単位以上	
		福祉行政と福祉計画	2	選	講	(各務勝博)	3～	秋	2023年度以降非開講		
		権利擁護と成年後見制度	2	選	講	(森朋子)	3～	春			
		障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	選	講	(佐藤貴宣)	2～	春	「障害者福祉」と読替		
		臨床福祉実習指導A	1	選	演	-	2～	春	非開講		
		臨床福祉実習指導B	1	選	演	-	2～	秋	非開講		
		臨床福祉実習A	1	選	実	二本柳覚 ○松田美枝	2～	春	人数制限あり ※1		
		臨床福祉実習B	1	選	実	二本柳覚 ○松田美枝	2～	秋	人数制限あり ※1		
	資格関連科目	教職に関する科目	社会学概説	2	選	講	(翁和美)	1～	秋		
			法学概説	2	選	講	(松久和彦)	1～	春		
			政治学概説	2	選	講	(中島啓勝)	1～	秋		2024年度以降非開講
			経済学概説	2	選	講	(陳偉業)	1～	春		
			国際法概説	2	選	講	(上地瑠美子)	1～	秋		2024年度以降非開講
			社会福祉原論A	2	選	講	(森合真一)	1～	秋		
			社会福祉原論B	2	選	講	(森合真一)	2～	春		
			地域福祉の理論と方法A	2	選	講	(各務勝博)	3～	春		
地域福祉の理論と方法B			2	選	講	(各務勝博)	3～	秋			
教職概論			2	選	講	大西巧	1～	春	※3		
教育学概論	2	選	講	大西巧	1～	秋	※3				
教育史	2	選	講	大西巧	2～	秋	※3 2024年度以降非開講				
教育社会学	2	選	講	大西巧	2～	春	※3				
同和教育論	2	選	講	(澤田清人)	2～	秋	※3				
特別支援教育概論(中・高)	1	選	講	(西山剛司)	3～	秋	※3				
カリキュラム論	2	選	講	(小林みどり)	3～	秋	※3				
社会科教育法	2	選	講	澤達大	2～	秋	※3				
社会科・公民科教育法	2	選	講	(濱良祐)	2～	秋	※3				
社会科・公民科授業実践論	2	選	講	(島本由紀)	3～	秋	※3				
授業研究(社会・公民)	2	選	講	澤達大	3～	春	※3				
総合的な学習の時間の指導法(中・高)	1	選	講	澤達大	3～	春	※3				
特別活動論	2	選	講	(浅田瞳) (原清治)	3～	春	集中講義 ※3				
教育方法・技術論	2	選	講	(真下知子)	3～	春	※3				
生徒・進路指導論	2	選	講	澤達大	3～	秋	※3				
教育相談	2	選	講	(荒井久美子)	3～	春	※3				
教育実習指導	2	選	演	澤達大	4	春	※3				
教育実習A	2	選	実	澤達大	4	春/秋	※3				
教育実習B	4	選	実	澤達大	4	春/秋	※3				
教職実践演習(中・高)	2	選	演	大西巧 ○澤達大	4	秋	※3				
資格関連科目	精神保健福祉士に関する科目	精神保健福祉援助演習(基礎)	2	選	演	松田美枝	3～	春	※2 ※3		
		精神保健福祉援助演習(専門)A	2	選	演	松田美枝	3～	秋	※2 ※3 2023年度以降非開講		
		精神保健福祉援助演習(専門)B	1	選	演	松田美枝	4	春	※2 ※3 全8回授業		
		精神保健福祉援助演習(専門)C	1	選	演	松田美枝	4	秋	※2 ※3 全8回授業		
		精神保健福祉援助実習指導ⅠA	2	選	演	二本柳覚	3～	春	※2 ※3		
		精神保健福祉援助実習指導ⅠB	1	選	演	二本柳覚	3～	秋	※2 ※3 全8回授業		
		精神保健福祉援助実習指導ⅡA	2	選	演	二本柳覚	4	春	※2 ※3		
		精神保健福祉援助実習指導ⅡB	1	選	演	二本柳覚	4	秋	※2 ※3 全8回授業		
		精神保健福祉援助実習Ⅰ	3	選	実	二本柳覚 ○松田美枝	3～	春	※2 ※3		
		精神保健福祉援助実習Ⅱ	2	選	実	○二本柳覚 松田美枝	4	春	※2 ※3		

臨床心理学部臨床心理学科 2019年度入学生対象

【備考】

1. 2021年度入学の3年次編入学生対象
2. 用語の解説
区分:「必」→必修、「選」→選択、「選必」→選択必修
授業方法:「講」→講義、「演」→演習、「実」→実習、「験」→実験
3. 担当者について
名前に()のついている担当者は、非常勤講師を表す。
4. クラス指定の科目について
「履修クラス指定」→履修するクラスが個別に分けられています。
5. 科目に関する注意事項
※1 抽選科目
※2 事前登録科目
※3 履修単位数の制限を超えて登録できる科目
▶ クラス分けについての連絡は、掲示板・UNIPA・Webページ等で確認してください。
6. その他
○は科目代表者

【卒業の要件】

KBUアイデンティティ科		全学共通科目							専門科目						その他	
仏教入門	京都文教入門	教養コア科目	リテラシー科目					現場実践教育科目	基幹演習科目群	専門コミュニケーション科目群	心理学科目	心理学実験査定科目	臨床心理学科目	精神保健福祉科目	社会科学系科目	他学科、単位互換、免許資格、科目等
			学習	言語		ICT	健康・スポーツ									
2単位	2単位	6単位	4単位	8単位	2単位	2単位	2単位	2単位	2単位	16単位	4単位	34単位			4単位	-
4単位			20単位					58単位(b)								
			32単位(a)					34単位(上記いずれの区分からでも良い) (c)								
								(a) + (b) + (c) 合計 124単位								

【卒業要件のよくあるミス】

- ・ 124単位取得したが、ある区分の必要単位数を満たしていなかった
 - ・ 124単位取得したが、修得していない必修・選択必修科目が残っていた
 - ・ 履修登録時点では124単位だったが、最後に単位が取得できなかった
- これらの結果、「1単位不足で卒業できなかった」、「(卒業ができません)内定が取り消された」などの事例が報告されています。
必ず、各区分ごとの指定単位数を満たしていること、また、必修・選択必修科目を指定されたとおりすべて修得していることを各自で確認してください。
(事務局では卒業の可否チェックはいたしかねます。不明な点があれば、担当教員にご相談ください。)

教育福祉心理学科の3つのポリシー

<アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）>

教育福祉心理学科では、以下のような人を入学生として求めている。

- 臨床心理学的な素養を身につけた実践力ある援助専門職として、小学校教員、保育士を目指す人
- こころの問題に対応できる小学校教員、保育士を目指す人
- 児童とその保護者に対する相談支援に貢献できる小学校教員を目指す人
- 地域社会での子育て支援に対応できる保育士を目指す人
- 共生社会の実現に貢献できる小学校教員や保育士を目指す人
- 小学校教員免許、保育士資格を持つ臨床心理士を目指す人

<カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施方針）>

本学科では、①基礎心理学の知見を身につけた上で②臨床心理学的素養と生涯発達心理学的な観点を養う。その上で、③それぞれの資格に関する確かな力量を身につけるための諸科目を学ぶ。その際には④現場とのつながりを重視した演習・実習などを体験することを重視する。

①や②に関する科目群として、「基幹演習科目群」「心理学科目群」「臨床心理学科目群」「専門コミュニケーション科目群」が置かれている。

③に関する科目群として「初等教育科目群」「保育科目群」が置かれている。

④に関する科目として、心理学科目群の中に「心理学実験」「心理学研究法」「心理学査定」などの心理学に関連した実験・実習科目、専門コミュニケーション科目群の中に「臨床心理学実践演習」が置かれている。その他にも、資格関連の諸科目の中で、現場との連携を重視した実習を行っていく。

<ディプロマポリシー（学位授与方針）>

教育や保育福祉分野に関連する専門職の資質向上を目的として、京都文教大学が従来から実施してきた学部教育から卒業教育の一貫した取り組みや、地域貢献についての実績に基づいて、臨床心理学的素養を基盤として、教育福祉の領域で活躍できる実践力のある専門職である小学校教員、保育士を主に育成することに教育の焦点をあてる。

そのため、本学の課程を修め、所定の単位修得と必修等の条件を充たしたうえで、小学校教員や保育士として活躍できうる専門的実践力と、子どもの人権と個性や多様性を尊重する態度を身につけると共に、子どもや保護者への相談支援と、教育や子育て支援に関わる地域貢献に尽力できる知識や技術を修得した人材を育成する。

卒業後は、専門職としての資質向上と地域貢献のために「学び続ける小学校教員や保育士」をめざす。

教育福祉心理学科のカリキュラム

1. カリキュラムの成り立ち

教育福祉心理学科は、「臨床心理学的素養を身につけた上で、教育や福祉の領域で活躍できる実践力のある専門職を育成する」という目標を持っています。この目標を実現するために、以下のような諸科目群が置かれています。

(1) 教育福祉心理学基幹科目群・基幹演習科目群

4年間の学びの中で、中心の柱となる科目群です。本学科の特徴である「生涯発達を視野にいたした学び」の全体を見渡すための「教育福祉心理学概論」の他、各学年の学びの中心となる教育福祉心理学・臨床心理学の演習が置かれており、少人数のクラスで学んでいきます。

(2) 専門科目群（心理学科目）

心理学の諸領域全体にまたがる科目が置かれています。さらに、研究法に関する科目（心理統計学・心理学研究測定法の講義科目、心理学実験・研究法・査定の実験科目）が置かれており、心理学的に人間を理解するための基礎的な方法論を学びます。

(3) 専門科目群（臨床心理学科目）

心理学的な人間への関わりについての学問である「臨床心理学」の講義科目が置かれています。目指す資格との関連が濃厚な科目から、広く深く人間を理解していくための科目まで、様々な科目が置かれています。

(4) 専門コミュニケーション科目群

心理学的な対人援助の中核である心理療法やカウンセリングにおける諸技法について体験的に学ぶ「臨床心理学実践演習」が置かれています。卒業必須ではありませんが、臨床心理学への関心・理解を深めるためには重要な科目群です。

(5) 保育科目群・初等教育科目群

保育士資格・小学校教員免許を取得するために必須の科目群です。単位数も多く、4年間の学びの中では中心的な位置を占める科目群と言えます。自分が取得する科目については、全科目の履修をすることが重要です。

2. 資格や免許を取得すること

本学科では、小学校教員・保育士として活躍できる人材を育成することを目指しています。このような仕事に就くための免許や資格が取得できるのが、本学科の特色です。免許や資格の取得を目指すうえで、次のような点に留意してください。「免許」や「資格」は「こういったことができる人ですよ」ということを証明するものです。その中には、単純に「こういうことができます」ということを表示するだけの資格（典型的なのは、漢字検定や英語検定のような資格です）もあります。一方で「ある訓練を受けていて、その資格に特有なものの見方・理解の仕方・能力を持っています」という、専門的な職能を証明するような資格もあります。専門的な職能を証明する資格にも様々なタイプがありますが、本学科で取得を目指す小学校教員の免許や、保育士資格は、大まかに言えば、それ以外のものがその肩書きを名乗ることができない免許や資格であるという共通点があります。こうした免許や資格の場合、「免許や資格を『取る』」という側面だけではなく、「その肩書きを持つに相応しい人に『なる』」という側面が重要になってきます。「免許や資格を『取る』」だけではなく、「その肩書きを持つに相応しい人に『なっていくのだ』」という構えをもちながら学習を進めていくことを期待しています

なお、小学校教員免許あるいは保育士資格の取得が卒業のための必須要件ではありませんが、各専門資格を取得するためには、学科が定めている科目をすべて履修することが必要です。

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース

2022年度カリキュラム表 臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件		
全学共通科目	KBU アイ デン ティ ティ 科目	仏教入門	仏陀と法然に学ぶ人間学	2	必	講	(仲宗根充修) ○林雅清	1～	春	履修クラス指定 ※2 「仏教入門」と読替	2	必修4単位
		京都文 教入門	大学入門	1	必	講	林雅清 ○平岡聡	1～	春	全8回授業 履修クラス指定 ※2	1	
			地域入門	1	必	講	(石田浩基) ○香川克 清水亜紀子 森正美	1～	秋	全8回授業 履修クラス指定 ※2	1	
	教養コア科目		社会科学入門	2	選	講	鷓飼正樹	1～	秋	「社会科学論」と読替	4単位以上	
			哲学	2	選	講	(笹岡健太)	1～	春			
			宗教学	2	選	講	(朝香知己)	1～	秋			
			文学論	2	選	講	(千古利恵子)	1～	春			
			歴史学	2	選	講	(澤田裕子)	1～	春			
			芸術論	2	選	講	(今村美邦子)	1～	春			
			仏教学	2	選	講	平岡聡	1～	秋			
			浄土学	2	選	講	林雅清	1～	秋			
			民俗学	2	選	講	小林康正	1～	秋			
			日本国憲法	2	選	講	大西貴之	1～	春			
			統計学	2	選	講	(西岡暁廣)	1～	春			
			宇宙の科学	2	選	講	(磯部洋明)	1～	秋			
			生命の科学	2	選	講	(大西雄二)	1～	秋			
	環境の科学	2	選	講	(阪元勇輝)	1～	秋	「環境論」と読替				
	数学的思考法	2	選	講	-	1～	秋	非開講				
	人権論	2	選	講	(小泉友則)	2～	秋					
	言語と社会	2	選	講	K.ヤニ	1～	春					
	倫理学	2	選	講	(笹岡健太)	2～	秋					
	社会福祉	2	選	講	(森合真一)	1～	春					
リテラシー科目	学習	初年次演習	2	必	演	大前暁政 ○亀岡正睦 中島千恵 橋本京子	1～	春	履修クラス指定 ※2	4	必修12単位を 含む16単位以上 学習領域から 必修4単位、外国語領域から 英語必修8単位、ICT領域から 2単位、健康・スポーツ領域から 2単位	
		書く技法	2	必	講	(朝田佳尚) (佐藤量) (田島知之) ○平岡聡 (藤井友紀) (山口周子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは自分で登録			
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウィリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) OL.S.！ビー	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	を含め、合計16 単位以上		

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース

授業科目等				単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
英語	英語コミュニケーションⅡ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウィリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) O.L.S.リピー	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	8			
	英語コミュニケーションⅢ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウィリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リピー	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1				
	英語コミュニケーションⅣ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウィリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リピー	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1				
	英語リーディングⅠ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1				
	英語リーディングⅡ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1				
	英語リーディングⅢ	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1				

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
第二外国語	英語リーディングⅣ	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅤ	1	選	演	L.S.リバー	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語コミュニケーションⅥ	1	選	演	瀧澤正己 陸君	3～	秋	人数制限あり ※1		
	英語リーディングⅤ	1	選	演	中窪靖 (山口和夫)	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語リーディングⅥ	1	選	演	中窪靖	3～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅰ	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅱ	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅲ	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅳ	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅰ	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	春	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅱ	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅲ	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	春	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅳ	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅰ	1	選	演	(大久保英子)	1～	春	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅱ	1	選	演	(大久保英子)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅲ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	春	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅳ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅰ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅱ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅲ	1	選	演	林雅清	2～	春	人数制限あり ※1		
中国語Ⅳ	1	選	演	林雅清	2～	秋	人数制限あり ※1			
韓国語Ⅰ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	春	人数制限あり ※1			
韓国語Ⅱ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	秋	人数制限あり ※1			
韓国語Ⅲ	1	選	演	(平井清実)	2～	春	人数制限あり ※1			
韓国語Ⅳ	1	選	演	(平井清実)	2～	秋	人数制限あり ※1			
現代とICT	2	選	講	(枝富喜夫)	1～	春				
ICT	情報機器演習	2	選	演	(浅里京子) (岡本久仁子) (枝富喜夫)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		2
	映像制作活用入門	2	選	演	(寺島亨)	1～	秋	人数制限あり ※1 「映像制作活用演習」と読替		
健康・スポーツ	体育実技	1	選	実技	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (高山優子)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		
	ヒューマン・パフォーマンス	2	選	演	-	1～	春/秋	非開講		
	生涯スポーツ	2	選	演	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (久米雅) (辻哲夫) (三上純)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		2
	健康スポーツ支援演習	2	選	演	-	1～	秋	非開講		
	健康と地域	2	選	講	-	1～	春	非開講		
	健康科学	2	選	講	岡本浄実 (久米雅)	1～	春/秋			

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
キャリア	キャリアと自己形成	2	選	講	中西勝彦 ○松田真理子 ○三浦潔	1～	秋	履修クラス指定 「キャリアと自己形成A」と読替	—	
	キャリアと企業文化	2	選	講	中西勝彦	3～	春	「キャリアと自己形成B」と読替		
現場実践 教育科目	地域ボランティア演習	2	選	演	大西巧 ○小林康正 島田香 ○平岡聡	2～	春/秋	人数制限あり ※1 「地域ボランティア演習A」と読替	—	—
	プロジェクト科目(地域)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 (岸岡洋介) 小林大祐 小林康正 澤達大 多湖雅博 (谷家優子) 中西勝彦 (中山良子) 安田ひろみ	2～	春	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IA」と読替		
					—					
					—					
	プロジェクト科目(テーマ)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 黒宮一太 小林大祐 中西勝彦 (中山良子) 林雅清 松田美枝 安田ひろみ	2～	秋	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IB」と読替		
	インターンシップ ^o	2	選	実	単位認定委員会	2～	秋	人数制限あり ※2 ※3		
	地域インターンシップ ^o	2	選	実	香川克 ○片山明久 黒宮一太 山本真一	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「地域インターンシップ事前指導」(春学期、1単位) + 「地域インターンシップ」(秋学期、1単位) (計2単位)と読替		
	海外インターンシップ ^o	2	選	実	潘宏立	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「海外インターンシップ事前指導」(春学期、1単位) + 「海外インターンシップ」(秋学期、1単位) (計2単位)と読替		
ボランティア論	2	選	講	岡本浄実 ○小林康正	2～	春/秋	「シチズンシップ論」と読替			

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
専門科目								
教育福祉心理学基幹科目群				必修9単位を含め、9単位以上				
教育福祉心理学概論	2	必	講	大前暁政 中島千恵 中橋葵 橋本京子 橋本祥夫 平野知見 南本長穂 ○島田香 本山益子	1～	春	「教育・保育のための子ども学」と読替 オムニバス	
初等教育学基礎演習	2	必	演	飯田令子 大前暁政 ○亀岡正睦 中島千恵 橋本京子	1～	秋	「こども教育学基礎演習」と読替 履修クラス指定 ※2	
初等教育学演習Ⅰ	2	必	演	飯田令子 大前暁政 ○亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	2～	春	「こども教育学演習Ⅰ」と読替 履修クラス指定 ※2	
初等教育学演習Ⅱ	2	必	演	飯田令子 大前暁政 ○亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	2～	秋	「こども教育学演習Ⅱ」と読替 履修クラス指定 ※2	
学校インターンシップⅠ	1	選	実	○飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫	1～	秋	履修クラス指定	
学校インターンシップⅡ	1	必	演	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 成實孝之 橋本京子 ○橋本祥夫	2～	春	履修クラス指定 ※2	
学校インターンシップⅢ	1	選	演	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 成實孝之 橋本京子 ○橋本祥夫	2～	秋	履修クラス指定	
学校インターンシップⅣ	1	選	実	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 ○橋本祥夫 南本長穂	3～	春	履修クラス指定	
学校インターンシップⅤ	1	選	実	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 ○橋本祥夫 南本長穂	3～	秋	履修クラス指定	

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
学校インターンシップⅥ	1	選	実	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 ○橋本祥夫 南本長穂	4	春	履修クラス指定	
学校インターンシップⅦ	1	選	実	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 ○橋本祥夫 南本長穂	4	秋	履修クラス指定	
基幹演習科目群								必修10単位
初等教育学研究法演習Ⅰ	2	必	演	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	3～	春	人数制限あり ※2 「こども教育学研究法演習Ⅰ」と読替	
初等教育学研究法演習Ⅱ	2	必	演	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	3～	秋	人数制限あり ※2 「こども教育学研究法演習Ⅱ」と読替	
初等教育学卒業研究Ⅰ	2	必	演	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	4	春	人数制限あり ※2	
初等教育学卒業研究Ⅱ	2	必	演	飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	4	秋	人数制限あり ※2	
卒業論文	2	必		飯田令子 大前暁政 亀岡正睦 中島千恵 橋本京子 橋本祥夫 南本長穂	4	春/秋	履修登録不要	
専門科目群 (心理学科目) 専門科目群 (心理学科目、臨床心理学科目)、専門コミュニケーション科目群から、必修8単位を含む、12単位以上								
心理学概論	2	必	講	井上嘉孝	1～	春		
学習・言語心理学	2	選	講	(後藤崇志)	2～	秋		
発達心理学 (小)	2	選	講	-	2～	春	非開講	
知覚・認知心理学	2	選	講	(西山慧)	2～	春		
感情・人格心理学	2	選	講	山崎基嗣	2～	秋		
社会心理学	2	選	講	(難波久美子)	2～	秋		
教育心理学	2	選	講	(松島るみ)	2～	春		
心身の発達と学習過程	2	必	講	(田爪宏二)	1～	秋		
神経・生理心理学	2	選	講	中島恵子	2～	春		
心理学統計法	2	選	講	○上田紗津貴 鈴木孝 未定	2～	秋		
心理学研究法	2	選	講	上田紗津貴 ○鈴木孝	2～	春		

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
心理学実験Ⅰ	2	選	験	-	1~	春	週2コマ開講 非開講	
心理学実験Ⅱ	2	選	験	-	1~	秋	週2コマ開講 非開講	
心理学査定Ⅰ-A	1	選	演	-	2~	春	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
心理学査定Ⅰ-B	1	選	演	-	2~	春	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
心理学査定Ⅱ-A	1	選	演	-	2~	秋	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
心理学査定Ⅱ-B	1	選	演	-	2~	秋	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
専門科目群（臨床心理学科目） 専門科目群（心理学科目、臨床心理学科目）、専門コミュニケーション科目群から、必修8単位を含む、12単位以上								
臨床心理学概論	2	必	講	濱野清志	1~	秋		
教育相談の理論と方法	2	必	講	島田香	3~	秋		
社会・集団・家族心理学	2	選	講	名取琢自	2~	秋		
教育・学校心理学	2	選	講	香川克	2~	春		
青年の心理と行動	2	選	講	香川克	1~	秋		
子ども学	2	選	講	三林真弓	2~	秋		
発達臨床学	2	選	講	(柴田長生)	2~	秋		
司法・犯罪心理学	2	選	講	川畑直人	2~	秋		
セクシュアリティと心理臨床	2	選	講	(葛西真記子)	2~	春	集中講義	
福祉心理学	2	選	講	松田美枝	2~	春		
心理学的支援法	2	選	講	川畑直人	2~	秋		
専門コミュニケーション科目群 専門科目群（心理学科目、臨床心理学科目）、専門コミュニケーション科目群から、必修8単位を含む、12単位以上								
臨床心理学実践演習（芸術療法1）	1	選	演	松田真理子	2~	春/秋	人数制限あり ※1	
臨床心理学実践演習（芸術療法2）	1	選	演	島田香	3~	春	全8回授業	
臨床心理学実践演習（芸術療法3）	1	選	演	濱野清志	2~	秋		
臨床心理学実践演習（夢分析1）	1	選	演	禹鍾泰	2~	春/秋	履修クラス指定（芸術療法2のみ、2022年度は教福クラスのみ開講）	
臨床心理学実践演習（夢分析2）	1	選	演	名取琢自	2~	春		
臨床心理学実践演習（夢分析3）	1	選	演	井上嘉孝	2~	春/秋		
臨床心理学実践演習（箱庭療法1）	1	選	演	千秋佳世	2~	春/秋	各学期1科目のみ履修可能。	
臨床心理学実践演習（箱庭療法2）	1	選	演	-	2~	春/秋	ただし、下記科目から1科目に限り追加履修を可とする。	
臨床心理学実践演習（箱庭療法3）	1	選	演	名取琢自	2~	秋		
臨床心理学実践演習（箱庭療法4）	1	選	演	清水亜紀子	2~	春/秋		
臨床心理学実践演習（カウンセリング1）	1	選	演	鈴木孝	2~	春/秋	臨床心理学実践演習	
臨床心理学実践演習（カウンセリング2）	1	選	演	香川克	2~	春	グループアプローチ1	
臨床心理学実践演習（カウンセリング3）	1	選	演	上田紗津貴	2~	秋	グループアプローチ2	
臨床心理学実践演習（精神科診断学）	1	選	演	-	2~	春/秋	グループアプローチ3	
臨床心理学実践演習（フォーカシング）	1	選	演	(矢野キエ)	2~	春	臨床心理学実践演習（精神科診断学）非開講	
臨床心理学実践演習（グループアプローチ1）	1	選	演	高石浩一	2~	秋		
臨床心理学実践演習（グループアプローチ2）	1	選	演	名取琢自	2~	秋		
臨床心理学実践演習（グループアプローチ3）	1	選	演	三林真弓	2~	秋		
臨床心理学実践演習（マインドフルネス）	1	選	演	三林真弓	2~	春		
臨床心理学実践演習（ボディワーク）	1	選	演	濱野清志	2~	春		
臨床心理学実践演習（ダンス/ムーブメントセラピー）	1	選	演	(廣瀬優希)	2~	春/秋		
外国書講読Ⅰ	2	選	演	(細川亜希)	3~	春		
外国書講読Ⅱ	2	選	演	(細川亜希)	3~	秋		
社会人基礎演習	2	選	演	未定	4	秋		
専門科目群（社会科学系科目） 2単位以上								
社会学概説	2	選	講	(翁和美)	1~	秋		
法学概説	2	選	講	(松久和彦)	1~	春		
政治学概説	2	選	講	(中島啓勝)	1~	秋	2024年度より非開講	
経済学概説	2	選	講	(陳偉業)	1~	春		
国際法概説	2	選	講	(上地瑠美子)	1~	秋	2024年度より非開講	

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
社会福祉原論A	2	選	講	(森合真一)	1~	秋		
社会福祉原論B	2	選	講	(森合真一)	2~	春		
地域福祉の理論と方法A	2	選	講	(各務勝博)	3~	春		
地域福祉の理論と方法B	2	選	講	(各務勝博)	3~	秋		
初等教育科目群								必修67単位
国語	2	必	講	橋本京子	2~	秋		
社会	2	必	講	橋本祥夫	2~	秋		
算数	2	必	講	亀岡正睦	2~	秋		
理科	2	必	講	大前暁政	2~	秋		
生活	2	必	講	飯田令子	2~	春		
音楽	2	必	講	堀内詩子	2~	秋	履修クラス指定 ※2	
図画工作	2	必	講	(山成昭世)	2~	秋	履修クラス指定 ※2	
家庭	2	必	講	(谷口明子)	2~	春	履修クラス指定 ※2	
体育	2	必	講	岡本浄実 (飛田義和)	2~	春	履修クラス指定 ※2	
英語(外国語)	2	必	講	武井諭	1~	春		
小学校英語活動	2	必	演	陸君	2~	春	「イングリッシュスキル」と読替	
教職入門	2	必	講	亀岡正睦	1~	春	「教職入門(小)」と読替	
教育原論	2	必	講	中島千恵	1~	秋		
教育制度論	2	必	講	中島千恵	4	春		
教育行政学	2	選	講	中島千恵	4	春		
初等教科教育法(国語)	2	必	講	橋本京子	3~	春		
初等教科教育法(社会)	2	必	講	橋本祥夫	3~	春		
初等教科教育法(算数)	2	必	講	亀岡正睦	3~	春		
初等教科教育法(理科)	2	必	講	大前暁政	3~	春		
初等教科教育法(生活)	2	必	講	飯田令子	3~	春		
初等教科教育法(音楽)	2	必	講	(岩佐明子) 堀内詩子	3~	春	履修クラス指定 ※2	
初等教科教育法(図画工作)	2	必	講	(山成昭世)	3~	春	履修クラス指定 ※2	
初等教科教育法(家庭)	2	必	講	(谷口明子)	2~	秋	履修クラス指定 ※2	
初等教科教育法(体育)	2	必	講	(小山宏之)	2~	秋	履修クラス指定 ※2	
初等教科教育法(英語)	2	必	講	武井諭	1~	秋		
特別支援教育概論(小)	1	必	講	-	1~	秋	非開講	
教育課程論	2	必	講	南本長穂	2~	春		
道徳の理論	2	必	講	-	2~	春	非開講	
道徳の指導法	2	必	講	成實孝之	3~	秋		
総合的な学習の時間の指導法(小)	2	必	講	橋本祥夫	1~	秋		
特別活動の指導法	2	必	講	○成實孝之 橋本祥夫 南本長穂	3~	春	「特別活動と進路の指導法」と読替	
教育方法論	2	必	講	大前暁政 (真下知子)	3~	秋		
生徒・進路指導の理論と方法	2	必	講	(田村靖二)	4	春		
発達障害への支援	2	必	講	(青山芳文)	3~	春		
教育実習事前事後指導	1	選	演	成實孝之 橋本京子 ○橋本祥夫	3~	秋	全8回授業 「教育実習事前事後指導(小)」と読替	
教育実習	4	選	実	成實孝之 橋本京子 ○橋本祥夫	3~	秋	「選」の意味については履修要項「小学校教育職員免許」の「教育実習について」を参照のこと 「教育実習(小)」と読替	
教職実践演習(小学校)	2	必	演	大前暁政 成實孝之 橋本祥夫	4	秋	履修クラス指定 ※2	

臨床心理学部教育福祉心理学科小学校教員養成コース 2019年度入学生対象

【備考】

1. 用語の解説
 区分：「必」→必修、「選」→選択、「選必」→選択必修
 授業方法：「講」→講義、「演」→演習、「実」→実習、「験」→実験
2. 担当者について
 名前に（ ）のついている担当者は、非常勤講師を表す。
 名前が「一」の科目は非開講を表す。
3. クラス指定の科目について
 「履修クラス指定」→履修するクラスが個別に分けられています。
4. 科目に関する注意事項
 ※1 抽選科目
 ※2 事前登録科目
 ※3 履修単位数の制限を超えて登録できる科目
 ▶ クラス分けについての連絡は、掲示板・UNIPA・Webページ等で確認してください。
5. その他
 ○は科目代表者

【卒業の要件】

全学共通科目										専門科目						その他	
KBUアイデンティティ科目		教養コア科目	リテラシー科目						現場実践教育科目	教育福祉心理学基幹科目群	基幹演習科目群	専門科目群(心理学科目)	専門科目群(臨床心理学科目)	専門コミュニケーション科目群	社会科学系科目群	初等教育科目群	他学科、単位互換、免許資格科目等
仏教入門	京大文教入門		学習	外国語		ICT	健康・スポーツ	キャリア									
				英語	第二外国語												
2単位	2単位	4単位	4単位	8単位	—	2単位	2単位	—	9単位	10単位	12単位	2単位	67単位	—			
4単位			16単位														
24単位(a)									100単位(b)								
(a)+(b) 合計 124単位																	

【卒業要件のよくあるミス】

- ・ 124単位取得したが、ある区分の必要単位数を満たしていなかった
- ・ 124単位取得したが、修得していない必修・選択必修科目が残っていた
- ・ 履修登録時点では124単位だったが、最後に単位が取得できなかった

これらの結果、「1単位不足で卒業できなかった」、「(卒業ができず)内定が取り消された」などの事例が報告されています。

必ず、各区分ごとの指定単位数を満たしていること、また、必修・選択必修科目を指定されたとおりすべて修得していることを各自で確認してください。

(事務局では卒業の可否チェックはいたしかねます。不明な点があれば、担当教員にご相談ください。)

2022年度カリキュラム表 臨床心理学部教育福祉心理学科保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件		
全学共通科目	KBU アイ デン ティ ティ 科目	仏教入門	2	必	講	(仲宗根充修) ○林雅清	1~	春	履修クラス指定 ※2 「仏教入門」と読替	2	必修4単位	
		京都文 教入門	大学入門	1	必	講	林雅清 ○平岡聡	1~	春	全8回授業 履修クラス指定 ※2		1
			地域入門	1	必	講	(石田浩基) ○香川克 清水亜紀子 森正美	1~	秋	全8回授業 履修クラス指定 ※2		1
	教養コア科目	社会科学入門	2	選	講	鶴飼正樹	1~	秋	「社会科学論」と読替	6単位以上		
		哲学	2	選	講	(笹岡健太)	1~	春				
		宗教学	2	選	講	(朝香知己)	1~	秋				
		文学論	2	選	講	(千古利恵子)	1~	春				
		歴史学	2	選	講	(澤田裕子)	1~	春				
		芸術論	2	選	講	(今村美邦子)	1~	春				
		仏教学	2	選	講	平岡聡	1~	秋				
		浄土学	2	選	講	林雅清	1~	秋				
		民俗学	2	選	講	小林康正	1~	秋				
		日本国憲法	2	選	講	大西貴之	1~	春				
		統計学	2	選	講	(西岡暁廣)	1~	春				
		宇宙の科学	2	選	講	(磯部洋明)	1~	秋				
		生命の科学	2	選	講	(大西雄二)	1~	秋				
環境の科学	2	選	講	(阪元勇輝)	1~	秋	「環境論」と読替					
数学的思考法	2	選	講	-	1~	秋	非開講					
人権論	2	選	講	(小泉友則)	2~	秋						
言語と社会	2	選	講	K.ヤニ	1~	春						
倫理学	2	選	講	(笹岡健太)	2~	秋						
社会福祉	2	選	講	(森合真一)	1~	春						
リテラシー科目	学習	初年次演習	2	必	演	大森弘子 中橋葵 林雅清 ○堀内詩子 藪一裕	1~	春	履修クラス指定 ※2	4	必修12単位を含む16単位以上 学習領域から必修4単位、外国語領域から英語必修8単位、ICT領域から2単位、健康・スポーツ領域から2単位 を含め、合計16単位以上	
		書く技法	2	必	講	(朝田佳尚) (佐藤量) (田島知之) ○平岡聡 (藤井友紀) (山口周子)	1~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは自分で登録			
	英語コミュニケーションⅠ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウイリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) ○L.S.リビー	1~	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1				

臨床心理学部教育福祉心理学科 保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
英語	英語コミュニケーションⅡ	1	必	演	(工藤敦子) (菊川和彦) 陸君 (J.アカザワ) (C.ウリス) (S.キャンベル) (S.トマシェフスキ) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) O.L.S.リピー	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1	8	
	英語コミュニケーションⅢ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リピー	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅣ	1	必	演	○瀧澤正己 中窪靖 (増田純一) (C.ウリス) (J.コーエン) (P.トゥーファー) (J.ホーヴィー) L.S.リピー	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングⅠ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングⅡ	1	必	演	(柏原陽子) (菊川和彦) (工藤敦子) (杉原由里子) 瀧澤正己 ○中窪靖 (林峰子) (原田靖也) (藤原和彦) (森川康子)	1～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語リーディングⅢ	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
外国語										

臨床心理学部教育福祉心理学科 保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
第二外国語	英語リーディングⅣ	1	必	演	(有本好一郎) (菊川和彦) (杉原由里子) 中窪靖 (増田純一) (宮本晴子) (山口和夫) ○陸君 (J.ホーヴィー)	2～	春/秋	履修クラス指定 ※2 再履修クラスは抽選 ※1		
	英語コミュニケーションⅤ	1	選	演	L.S.リバー	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語コミュニケーションⅥ	1	選	演	瀧澤正己 陸君	3～	秋	人数制限あり ※1		
	英語リーディングⅤ	1	選	演	中窪靖 (山口和夫)	3～	春	人数制限あり ※1		
	英語リーディングⅥ	1	選	演	中窪靖	3～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅰ	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅱ	1	選	演	(本多雄一郎)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅲ	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	春	人数制限あり ※1		
	フランス語Ⅳ	1	選	演	(本多雄一郎)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅰ	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	春	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅱ	1	選	演	(寺澤大奈)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅲ	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	春	人数制限あり ※1		
	ドイツ語Ⅳ	1	選	演	(寺澤大奈)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅰ	1	選	演	(大久保英子)	1～	春	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅱ	1	選	演	(大久保英子)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅲ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	春	人数制限あり ※1		
	スペイン語Ⅳ	1	選	演	(北條ゆかり)	2～	秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅰ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅱ	1	選	演	○林雅清 潘宏立 (劉建)	1～	秋	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅲ	1	選	演	林雅清	2～	春	人数制限あり ※1		
	中国語Ⅳ	1	選	演	林雅清	2～	秋	人数制限あり ※1		
	韓国語Ⅰ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	春	人数制限あり ※1		
	韓国語Ⅱ	1	選	演	(平井清実) ○安田ひろみ	1～	秋	人数制限あり ※1		
	韓国語Ⅲ	1	選	演	(平井清実)	2～	春	人数制限あり ※1		
韓国語Ⅳ	1	選	演	(平井清実)	2～	秋	人数制限あり ※1			
現代とICT	2	選	講	(枝富喜夫)	1～	春				
ICT	情報機器演習	2	選	演	(浅里京子) (岡本久仁子) (枝富喜夫)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		2
	映像制作活用入門	2	選	演	(寺島亨)	1～	秋	人数制限あり ※1 「映像制作活用演習」と読替		
健康・スポーツ	体育実技	1	選	実技	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (高山優子)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		
	ヒューマン・パフォーマンス	2	選	演	-	1～	春/秋	非開講		
	生涯スポーツ	2	選	演	(稲井勇仁) ○岡本浄実 (久米雅) (辻哲夫) (三上純)	1～	春/秋	人数制限あり ※1		2
	健康スポーツ支援演習	2	選	演	-	1～	秋	非開講		
	健康と地域	2	選	講	-	1～	春	非開講		
	健康科学	2	選	講	岡本浄実 (久米雅)	1～	春/秋			

臨床心理学部教育福祉心理学科 保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等		単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	必要単位	卒業の要件
キャリア	キャリアと自己形成	2	選	講	中西勝彦 ○松田真理子 ○三浦潔	1～	秋	履修クラス指定 「キャリアと自己形成A」と読替	—	
	キャリアと企業文化	2	選	講	中西勝彦	3～	春	「キャリアと自己形成B」と読替		
現場実践 教育科目	地域ボランティア演習	2	選	演	大西巧 ○小林康正 島田香 ○平岡聡	2～	春/秋	人数制限あり ※1 「地域ボランティア演習A」と読替		
	プロジェクト科目(地域)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 (岸岡洋介) 小林大祐 小林康正 澤達大 多湖雅博 (谷家優子) 中西勝彦 (中山良子) 安田ひろみ	2～	春	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IA」と読替		
					—					
					—					
	プロジェクト科目(テーマ)	2	選	演	(稲井勇仁) 岡本浄実 黒宮一太 小林大祐 中西勝彦 (中山良子) 林雅清 松田美枝 安田ひろみ	2～	秋	人数制限あり ※1 「プロジェクト科目IB」と読替	—	—
	インターンシップ ^o	2	選	実	単位認定委員会	2～	秋	人数制限あり ※2 ※3		
	地域インターンシップ	2	選	実	香川克 ○片山明久 黒宮一太 山本真一	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「地域インターンシップ事前指導」 (春学期、1単位) + 「地域インターンシップ」 (秋学期、1単位) (計2単位)と読替		
	海外インターンシップ	2	選	実	潘宏立	2～	春/秋	人数制限あり ※2 「海外インターンシップ事前指導」 (春学期、1単位) + 「海外インターンシップ」 (秋学期、1単位) (計2単位)と読替		
ボランティア論	2	選	講	岡本浄実 ○小林康正	2～	春/秋	「シチズンシップ論」と読替			

臨床心理学部教育福祉心理学科保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
専門科目								
教育福祉心理学基幹科目群								必修10単位
教育福祉心理学概論	2	必	講	大前暁政 中島千恵 中橋葵 橋本京子 橋本祥夫 平野知見 南本長穂 ○島田香 本山益子 藪一裕	1～	春	「教育・保育のための子ども学」と読替 オムニバス	
教育福祉心理学基礎演習	2	必	演	大森弘子 中橋葵 林雅清 ○堀内詩子 藪一裕	1～	秋	「こども教育学基礎演習」と読替 履修クラス指定 ※2	
教育福祉心理学演習Ⅰ	2	必	演	岡本浄実 島田香 中橋葵 平野知見 堀内詩子 本山益子	2～	春	「こども教育学演習Ⅰ」と読替 履修クラス指定 ※2	
教育福祉心理学演習Ⅱ	2	必	演	岡本浄実 島田香 中橋葵 平野知見 堀内詩子 本山益子 藪一裕	2～	秋	「こども教育学演習Ⅱ」と読替 履修クラス指定 ※2	
子ども家庭支援の心理学	2	必	講	島田香	3～	春	履修クラス指定	
基幹演習科目群								必修10単位
臨床心理学研究法演習Ⅰ	2	必	演	大森弘子 岡本浄実 島田香 平野知見 本山益子	3～	春	「こども教育学研究法演習Ⅰ」と読替 履修クラス指定 ※2 人数制限あり	
臨床心理学研究法演習Ⅱ	2	必	演	大森弘子 岡本浄実 島田香 平野知見 本山益子	3～	秋	「こども教育学研究法演習Ⅱ」と読替 履修クラス指定 ※2 人数制限あり	
保育福祉総合演習Ⅰ	2	必	演	大森弘子 岡本浄実 島田香 平野知見 本山益子	4	春	履修クラス指定 ※2 人数制限あり	
保育福祉総合演習Ⅱ	2	必	演	大森弘子 岡本浄実 島田香 平野知見 本山益子	4	秋	履修クラス指定 ※2 人数制限あり	
卒業論文	2	必		大森弘子 岡本浄実 島田香 平野知見 本山益子	4	春/秋	履修登録不要	
専門科目群（心理学科目） 専門科目群（心理学科目、臨床心理学科目）、専門コミュニケーション科目群から、必修4単位含め、22単位以上								
心理学概論	2	必	講	井上嘉孝	1～	春		
学習・言語心理学	2	選	講	(後藤崇志)	2～	秋		
発達心理学	2	選	講	(西元直美)	2～	春		
知覚・認知心理学	2	選	講	(西山慧)	2～	春		
感情・人格心理学	2	選	講	山崎基嗣	2～	秋		
社会心理学	2	選	講	(難波久美子)	2～	秋		
教育心理学	2	選	講	(松島るみ)	2～	春		

臨床心理学部教育福祉心理学科保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
心身の発達と学習過程	2	選	講	(田爪宏二)	1~	秋		
神経・生理心理学	2	選	講	中島恵子	2~	春		
心理学統計法	2	選	講	○上田紗津貴 鈴木孝 未定	2~	秋		
心理学研究法	2	選	講	上田紗津貴 ○鈴木孝	2~	春		
心理学実験Ⅰ	2	選	験	-	1~	春	週2コマ開講 履修クラス指定 非開講	
心理学実験Ⅱ	2	選	験	-	1~	秋	週2コマ開講 履修クラス指定 非開講	
心理学査定Ⅰ-A	1	選	演	-	2~	春	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
心理学査定Ⅰ-B	1	選	演	-	2~	春	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
心理学査定Ⅱ-A	1	選	演	-	2~	秋	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
心理学査定Ⅱ-B	1	選	演	-	2~	秋	全8回授業 人数制限あり ※1 非開講	
専門科目群 (臨床心理学科目) 専門科目群 (心理学科目、臨床心理学科目)、専門コミュニケーション科目群から、必修4単位含め、22単位以上								
臨床心理学概論	2	必	講	濱野清志	1~	秋		
ユング心理学	2	選	講	禹鍾泰	2~	春		
教育相談の理論と方法	2	選	講	島田香	3~	秋		
社会・集団・家族心理学	2	選	講	名取琢自	2~	秋		
宗教と臨床心理学	2	選	講	(西平直)	2~	春	集中講義	
深層臨床心理学	2	選	講	名取琢自	2~	春		
精神分析学	2	選	講	(鈴木健一)	2~	春	集中講義	
教育・学校心理学	2	選	講	香川克	2~	春		
青年の心理と行動	2	選	講	香川克	1~	秋		
子ども学	2	選	講	三林真弓	2~	秋		
発達臨床学	2	選	講	(柴田長生)	2~	秋		
カウンセリング心理学	2	選	講	三林真弓	2~	春		
健康・医療心理学	2	選	講	松田真理子	2~	春		
物語と臨床心理学	2	選	講	倉西宏	1~	秋		
トランスパーソナル心理学	2	選	講	(鏡リュウジ) ○濱野清志	2~	春		
芸術療法	2	選	講	千秋佳世	2~	秋		
心理療法学	2	選	講	高石浩一	2~	春		
日本の心理療法	2	選	講	(田中櫻子)	2~	秋	集中講義	
司法・犯罪心理学	2	選	講	川畑直人	2~	秋		
対人社会心理学	2	選	講	川畑直人	2~	春		
産業・組織心理学	2	選	講	川畑直人 ○中島恵子	2~	秋		
コミュニティ心理学	2	選	講	(難波愛)	2~	春		
障害者・障害児心理学	2	選	講	(金山由美)	2~	秋		
セクシュアリティと心理臨床	2	選	講	(葛西真記子)	2~	春	集中講義	
精神疾患とその治療Ⅰ	2	選	講	平尾和之	2~	春		
精神疾患とその治療Ⅱ	2	選	講	平尾和之	2~	秋		
精神保健学A	2	選	講	松田美枝	3~	春		
精神保健学B	2	選	講	松田美枝	3~	秋		
福祉心理学	2	選	講	松田美枝	2~	春		
心理学的支援法	2	選	講	川畑直人	2~	秋		
発達障害への支援	2	選	講	(青山芳文)	3~	春		
特別支援教育概論(小)	1	選	講	-	1~	秋	非開講	
子ども家庭支援論	2	選	講	(笹川宏樹)	3~	春	履修クラス指定	

臨床心理学部教育福祉心理学科保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
保育の心理学	2	選	講	島田香	2～	春	履修クラス指定	
子どもの理解と援助	2	選	演	島田香	2～	秋	「子ども理解の理論と方法」と読替 履修クラス指定	
子育て支援	1	選	演	(笹川宏樹)	3～	秋	履修クラス指定	
障がい児保育	2	選	演	(大脇万起子)	3～	秋	履修クラス指定	
専門コミュニケーション科目群 専門科目群 (心理学科目、臨床心理学科目)、専門コミュニケーション科目群から、必修4単位含め、22単位以上								
臨床心理学実践演習(カウンセリング1)	1	選	演	鈴木孝	2～	春/秋	人数制限あり ※1 全8回授業 各学期1科目のみ履修可能。 ただし、下記科目から1科目に 限り追加履修を可とする。 臨床心理学実践演習 グループアプローチ1 グループアプローチ2 グループアプローチ3 臨床心理学実践演習(精神科診 断学) 非開講	
臨床心理学実践演習(カウンセリング2)	1	選	演	香川克	2～	春		
臨床心理学実践演習(カウンセリング3)	1	選	演	上田紗津貴	2～	秋		
臨床心理学実践演習(芸術療法1)	1	選	演	松田真理子	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(芸術療法2)	1	選	演	島田香	3～	春		
臨床心理学実践演習(芸術療法3)	1	選	演	濱野清志	2～	秋		
臨床心理学実践演習(箱庭療法1)	1	選	演	千秋佳世	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(箱庭療法2)	1	選	演	-	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(箱庭療法3)	1	選	演	名取琢自	2～	秋		
臨床心理学実践演習(箱庭療法4)	1	選	演	清水亜紀子	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(夢分析1)	1	選	演	馬鍾泰	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(夢分析2)	1	選	演	名取琢自	2～	春		
臨床心理学実践演習(夢分析3)	1	選	演	井上嘉孝	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(フォーカシング)	1	選	演	(矢野キエ)	2～	春		
臨床心理学実践演習(マインドフルネス)	1	選	演	三林真弓	2～	春		
臨床心理学実践演習(ボディワーク)	1	選	演	濱野清志	2～	春		
臨床心理学実践演習(ダンス/ムーブメントセラピー)	1	選	演	(廣瀬優希)	2～	春/秋		
臨床心理学実践演習(グループアプローチ1)	1	選	演	高石浩一	2～	秋		
臨床心理学実践演習(グループアプローチ2)	1	選	演	名取琢自	2～	秋		
臨床心理学実践演習(グループアプローチ3)	1	選	演	三林真弓	2～	秋		
臨床心理学実践演習(精神科診断学)	1	選	演	-	2～	春/秋		
外国書講読Ⅰ	2	選	演	(細川亜希)	3～	春		
外国書講読Ⅱ	2	選	演	(細川亜希)	3～	秋		
臨床心理学とキャリア構築	1	選	講	清水亜紀子	1～	春	全8回授業	
社会に活かす臨床心理学	1	選	講	馬鍾泰	3～	春	全8回授業	
社会人基礎演習	2	選	演	未定	4	秋		
専門科目群 (社会科学系科目)								4単位以上
社会学概説	2	選	講	(翁和美)	1～	秋		
法学概説	2	選	講	(松久和彦)	1～	春		
政治学概説	2	選	講	(中島啓勝)	1～	秋	2024年度より非開講	
経済学概説	2	選	講	(陳偉業)	1～	春		
国際法概説	2	選	講	(上地瑠美子)	1～	秋	2024年度より非開講	
社会福祉原論A	2	選	講	藪一裕	1～	春	履修クラス指定	
社会福祉原論B	2	選	講	(森合真一)	2～	春		
地域福祉の理論と方法A	2	選	講	(各務勝博)	3～	春		
地域福祉の理論と方法B	2	選	講	(各務勝博)	3～	秋		
保育科目群								32単位以上
教育原理	2	選	講	-	1～	秋	非開講	
保育原理	2	選	講	平野知見	1～	秋	履修クラス指定	
子ども家庭福祉	2	選	講	藪一裕	1～	秋	履修クラス指定	
保育者論	2	選	講	平野知見	3～	春	「保育・教職入門」と読替 履修クラス指定	
子どもの食と栄養	2	選	演	(西彰子)	2～	春	履修クラス指定	
保育の計画と評価	2	選	講	大森弘子	2～	秋	履修クラス指定	
乳児保育Ⅰ	2	選	講	(赤田太郎)	2～	秋	履修クラス指定	
乳児保育Ⅱ	1	選	演	(大脇万起子)	3～	春	履修クラス指定	
社会的養護Ⅰ	2	選	講	藪一裕	2～	春	履修クラス指定	
子どもの保健	2	選	講	(大脇万起子)	2～	秋	履修クラス指定	
子どもの健康と安全	1	選	演	(大脇万起子)	3～	春	履修クラス指定	
保育内容総論	2	選	演	大森弘子 (後藤由美)	2～	春	履修クラス指定	

臨床心理学部教育福祉心理学科保育福祉心理コース 2019年度入学生対象

授業科目等	単位数	区分	授業方法	担当者	履修年次	開講期	備考	卒業の要件
保育内容演習（環境）	1	選	演	中橋葵	2～	春	「保育内容 環境」と読替履修クラス指定	
保育内容演習（健康）	1	選	演	(田中真紀)	3～	秋	「保育内容 健康」と読替履修クラス指定	
保育内容演習（表現）	1	選	演	堀内詩子 本山益子	2～	秋	「保育内容 表現」と読替履修クラス指定	
保育内容演習（人間関係）	1	選	演	大森弘子	3～	春	「保育内容 人間関係」と読替履修クラス指定	
保育内容演習（言葉）	1	選	演	大森弘子	3～	春	「保育内容 言葉」と読替履修クラス指定	
社会的養護Ⅱ	1	選	演	藪一裕	2～	秋	履修クラス指定	
保育内容の理解と方法Ⅰ	1	選	演	(小林久美子) ○堀内詩子	2～	春	「器楽実践演習Ⅱ（基本）」と読替履修クラス指定	
保育内容の理解と方法Ⅱ	1	選	演	(山成昭世)	2～	春	「造形実践演習」と読替履修クラス指定	
保育内容の理解と方法Ⅲ	1	選	演	岡本浄実	2～	春	「子どもと体育」と読替履修クラス指定	
保育内容の理解と方法Ⅳ	1	選	演	○岡本浄実 中橋葵 堀内詩子	2～	秋	「遊びと育ち実践演習」と読替履修クラス指定	
保育内容の理解と方法Ⅴ	1	選	演	-	3～	春	履修クラス指定 非開講	
保育内容の理解と方法Ⅵ	1	選	演	-	2～	秋	非開講	
幼児体育	2	選	演	岡本浄実	3～	秋	履修クラス指定	
コミュニケーションスキル演習（保育実践演習）	2	選	演	平野知見	4	秋	履修クラス指定	
保育実習Ⅰ（保育所）	2	選	実	大森弘子 岡本浄実 島田香 中橋葵 ○平野知見 堀内詩子 本山益子 藪一裕	3～	秋		
保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	選	演	大森弘子 ○平野知見	3～	秋		
保育実習Ⅰ（施設）	2	選	実	大森弘子 岡本浄実 ○島田香 中橋葵 平野知見 堀内詩子 本山益子 藪一裕	3～	春		
保育実習指導Ⅰ（施設）	1	選	演	○島田香 藪一裕	3～	春		
保育実習Ⅱ	2	選	実	大森弘子 岡本浄実 島田香 中橋葵 ○平野知見 堀内詩子 本山益子 藪一裕	4	春		
保育実習指導Ⅱ	1	選	演	中橋葵 ○平野知見	4	春	全8回授業	
保育実習Ⅲ	2	選	実	○大森弘子 岡本浄実 島田香 中橋葵 平野知見 堀内詩子 本山益子 藪一裕	4	春		
保育実習指導Ⅲ	1	選	演	○大森弘子 藪一裕	4	春	全8回授業	

【備考】

1. 用語の解説
 - 区分：「必」→必修、「選」→選択、「選必」→選択必修
 - 授業方法：「講」→講義、「演」→演習、「実」→実習、「験」→実験
2. 担当者について
 - 名前に（ ）のついている担当者は、非常勤講師を表す。
 - 名前が「-」の科目は非開講を表す。
3. クラス指定の科目について
 - 「履修クラス指定」→履修するクラスが個別に分けられています。
4. 科目に関する注意事項
 - ※1 抽選科目
 - ※2 事前登録科目
 - ※3 履修単位数の制限を超えて登録できる科目
 - ▶ クラス分けについての連絡は、掲示板・UNIPA・Webページ等で確認してください。
5. その他
 - は科目代表者

【卒業の要件】

全学共通科目										専門科目						その他	
KBUアイデンティティ科目		教養コア科目	リテラシー科目						現場実習科目	教育福祉心理学基幹科目群	基幹演習科目群	専門科目群(心理学科目)	専門科目群(臨床心理学科目)	専門コミュニケーション科目群	社会科学系科目	保育科目群	他学科、単位互換、免許資格科目等
仏教入門	京都文教入門		学習	外国語		ICT	健康・スポーツ	キャリア									
				英語	第二外国語												
2単位	2単位	6単位	4単位	8単位	—	2単位	2単位	—	10単位	10単位	22単位			4単位	32単位	—	
4単位			16単位								78単位(b)						
26単位(a)										20単位(上記いずれの区分からでも良い) (c)							
(a)+(b)+(c) 合計 124単位																	

【卒業要件のよくあるミス】

- ・ 124単位取得したが、ある区分の必要単位数を満たしていなかった
- ・ 124単位取得したが、修得していない必修・選択必修科目が残っていた
- ・ 履修登録時点では124単位だったが、最後に単位が取得できなかった

これらの結果、「1単位不足で卒業できなかった」、「(卒業ができず)内定が取り消された」などの事例が報告されています。

必ず、各区分ごとの指定単位数を満たしていること、また、必修・選択必修科目を指定されたとおりすべて修得していることを各自で確認してください。

(事務局では卒業の可否チェックはいたしかねます。不明な点があれば、担当教員にご相談ください。)